I-O DATA

IEEE 1394 TV チューナーBOX

GV-1394TV

取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

127929-01

もくじ

お読みになる前に

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意　味
本製品	GV-1394TV
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System, Microsoft® Windows® XP Professional Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98 SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System

マークの説明

注意
本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。

参考
本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

必ずお守りください

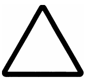
お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

警告および注意事項

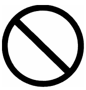
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味



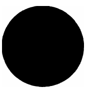
この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

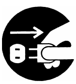


この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守する


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しない

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有料修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことに注意する

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず本書で方法を確認する

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


水濡れ禁止

本体を濡らさない

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

濡れた手で本製品を扱わない

感電や、本製品の故障の原因となります。

厳守

ACアダプタについては以下に注意する

●必ず添付または指定のACアダプタを使用してください。
●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●電源コードをACコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
●電源コードの電源プラグは、濡れた手でACコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
●電源コードがACコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。
（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●本製品を長時間使わない場合は、ACアダプタを電源から抜いてください。ACアダプタを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

⚠ 注意

禁止

本製品は以下のような場所で保管･使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所

≪使用時のみの制限≫

●保温、保湿性の高いものの近く（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）
●製品に通気孔がある場合は、通気孔がふさがるような場所

禁止

本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

禁止

本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。
本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇すると、表面・内部が結露する場合があります。
そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。

禁止

本製品内部およびコネクタ部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

動作中にケーブルを激しく動かさないでください。

接触不良およびそれによるデータ破壊などの原因となることがあります。

注意

本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

厳守

本製品のコネクタには触れないでください。

コネクタに触れると静電気により、本製品が破壊されるおそれがあります。

使用上のご注意

●ケーブルは、コネクタを持って取り外す

ケーブルを取り外すときは、ケーブル部分ではなく、コネクタを持って取り外してください。

●ラジオやテレビジョン受信機に近接して使用しない

Memo

はじめに

特長

ハードウェア DV エンコーダを内蔵

ビットレートに換算して25Mbpsのハイクオリティな映像データを、パソコンに取り込めます。

高画質化回路を搭載

10bitA/D変換、3D Y/C分離、3Dノイズリダクション、画質補正機能などのアナログ映像をデジタル化するにあたり必要な高画質化回路を搭載。

「Locked Audio」機能搭載

キャプチャ製品で発生しがちな、映像と音声データの同期がとれないことから発生する音ズレ。
GV-1394TVは「Locked Audio」機能を搭載し、上記の音ズレ問題を未然に防ぐことができます。

「I-O DATA DigitalTV Recorder」添付

テレビの視聴や、録画・チャンネル切換を簡単に行えます。

他社製ソフトでも録画可能

DVキャプチャに対応した他社製ビデオ編集ソフト上からも、GV-1394TVを使ってTV録画が可能です。

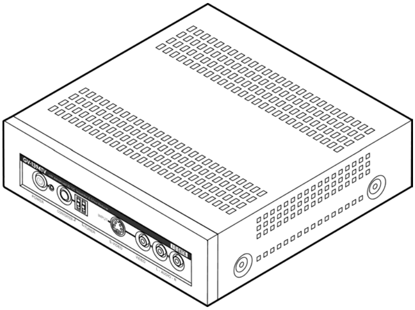
コンバータモード搭載

単体でも、アナログ→DVコンバータとしてご利用いただけます。

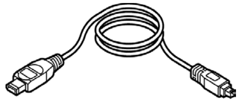
箱の中には

箱の中には以下のものが入っています。
□にチェックをつけながら、ご確認ください。
万が一不足品がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。

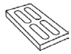
□ **TVチューナーボックス(1台)**
［GV-1394TV］



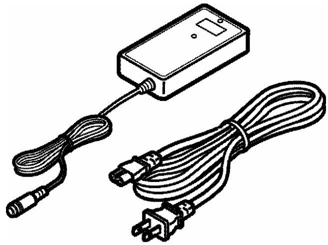
□ **IEEE 1394ケーブル(1本)**
［4-6ピン：約1m］



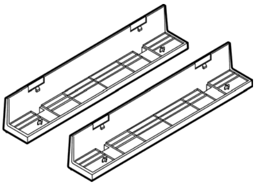
□ **ゴム脚(4個×1枚)**



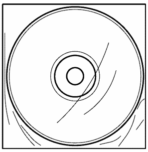
□ **ACアダプタ(1個)**



□ **スタンド(2個)**

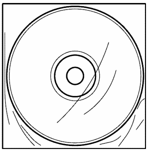


□ **GV-1394TVサポートソフト(1枚)**［CD-ROM］



・I-O DATA DigitalTV Recorder
　（ - DigitalTV Recorder　　- Channel Manager
　　 - Channel Commander　　- Audio Changer ）
・I-O DATA MediaSink
・Windows Media ランタイム
・DirectX 8.1 ランタイム
・reserMail

- [ ] **Ulead 編集ソフト一式(1枚)**［CD-ROM］



・Ulead VideoStudio 6 SE（ビデオ編集ソフト）
・Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE with AC-3
（DVDオーサリングソフト）
・Ulead PhotoImpact 7 SE（静止画編集ソフト）
・Ulead Cool 3D 3 SE（3Dタイトル作成ソフト）

- [x] **GV-1394TV取扱説明書(1冊)**［本書］
- [ ] **ハードウェア保証書(1枚)**
- [ ] **ユーリードシステムズ(株)ユーザ登録カード(1枚)**

参考

箱・梱包材は
大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。

イラストについて
実物と若干異なる場合があります。

Uleadのソフトウェア、reserMailについて
【サービス品のソフトウェア】(93ページ)をご覧ください。

ユーザー登録は済ませましたか？
インターネットから登録する事ができます。
アドレスはこちら　**http://www.iodata.jp/regist/**

動作環境

本製品を使うことのできる環境を説明します。

パソコンに接続して使う

対応機種	NEC PC98-NXシリーズ，DOS/Vマシン※1
対応OS	Windows XP※2，Windows 2000，Windows Me， Windows 98 SE 《Windows XP/2000推奨》
CPU※3	Intel Celeron 550MHz以上，Pentium Ⅲ 550MHz以上， Pentium 4 AMD Athlon 550MHz以上，Duron 《Pentium 4以上推奨》
メモリ	64Mバイト以上《256Mバイト以上推奨》
ハードディスク	UltraATA33/以上の転送速度を持ち、150Mバイト以上の空き容量※4があること 《NTFSファイルシステムを推奨》
Windowsグラフィックアクセラレータ※5	解像度：800×600ドット以上 画面の色：16ビットハイカラー以上 DirectDrawオーバーレイに対応した環境※6
サウンド	必須
CD-ROMドライブ	インストール時に必要
IEEE 1394ポート	OHCI準拠IEEE 1394ポートを搭載していること

※1 弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認をしています。
※2 「ユーザーの切り替え」には対応しておりません。「ユーザーの切り替え」を行う場合は、あらかじめ本製品に添付のソフトウェアを全て終了させてください。
※3 記載されているCPU以外には対応しておりません。
※4 録画保存用には、別途1分につき約220Mバイト必要です。
[AVI(DV形式)で録画する場合]
※5 種類やVRAMの容量によって表示条件(解像度、色数、リフレッシュレートなど)が制限される場合があります。
※6 サポートソフトからDirectX 8.1をインストールすることができます。

注意

他のキャプチャ製品との併用はできません

他のキャプチャ製品をお使いの場合、あらかじめ全て取り外し、それらの製品をアンインストールしてください。

DV 機器に接続して使う

DV機器	DV端子を持ち、DVデータの入力に対応したDV機器

接続できる映像機器

接続する映像機器は映像（ビデオ）出力端子のあるものをご用意ください。
また、本製品との接続のためにはコンポジットケーブルまたはSビデオケーブルが必要です。電化製品販売店などでお求めください。

・ピンプラグ形状の映像出力端子を持つ映像機器
・Sビデオの映像出力端子を持つ映像機器

参考

映像機器との接続について

「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

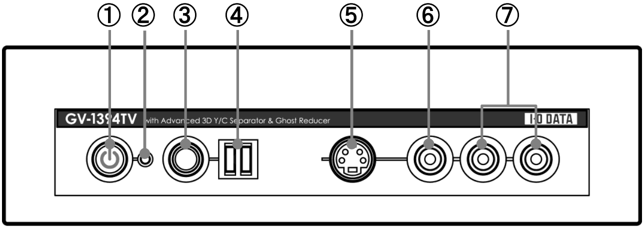
あらかじめご了承ください。

著作権保護機能が入っている映像は表示・録画できません

DVDソフトなどの、著作権保護機能が入っている映像は、表示および録画できないようになっております。あらかじめご了承ください。

各部の名称・機能

前面



① 電源スイッチ	本製品の電源を入／切します。
② 電源ランプ	本製品の電源が入ると、青く点灯します。
③ モード切替スイッチ	モードを切り替えます。 【モードを切り替える】（88ページ）
④ モードランプ	点灯：現在のモードを表します。 点滅：コピーガード信号を認識し、本製品からの映像出力を停止しています。
⑤ Sビデオ入力端子	映像機器からの映像を入力します。
⑥ ビデオ入力端子	
⑦ 音声入力端子	映像機器からの音声を入力します。

参考

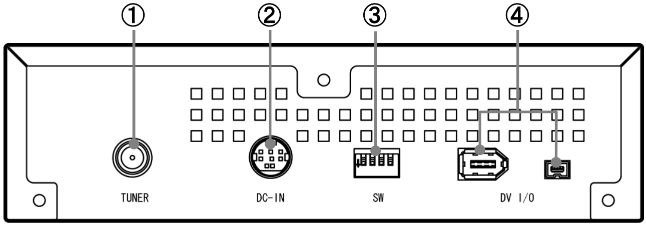
コンバートモード（CONVERT）

本製品に接続した映像機器から入力された映像を、DV端子より出力します。

チューナーモード（TUNER）

本製品のチューナーを使って、テレビ番組をDV端子より出力します。

背面



① アンテナ入力	アンテナと接続します。
② DCジャック	添付のACアダプタで電源コンセントに接続します。
③ 初期設定スイッチ	本製品の設定を行います。 【音声の周波数を設定する】(89ページ) 【Locked Audioを設定する】(90ページ) ※ 左側２つのスイッチを使用します。 それ以外のスイッチは、OFFのまま変更しないでください。
④ DV(IEEE 1394)端子	ここからDV形式のデータを出力します。

スタンドを取り付ける

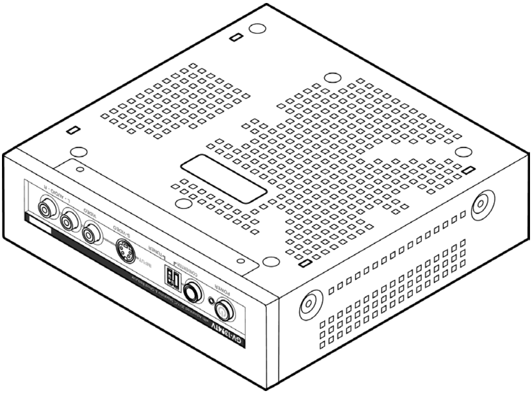
本製品を設置する前に、添付のスタンドを取り付けます。

注意

> **スタンドは必ず取り付けてください**
> スタンドを取り付けないと、下からの放熱ができないため、本製品が正しく動作しない恐れがあります。

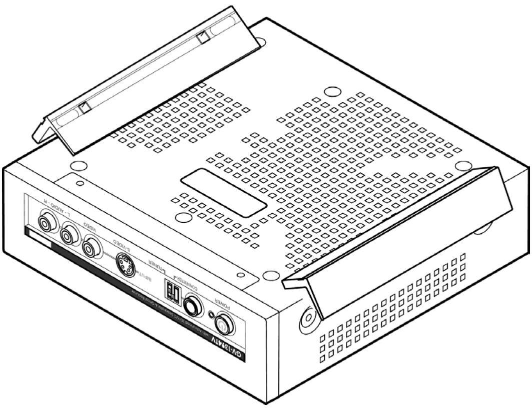
1 本製品を裏返します。

本製品の製品名が上下逆になるように置きます。



2 スタンドにある＋状の突起を本製品底面の穴に合わせます。

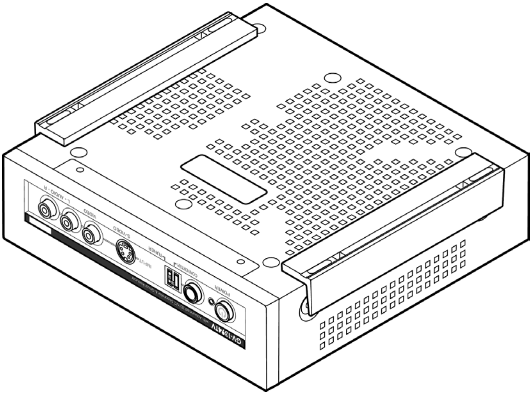
本製品の横に当たる部分が浮くようにするのがコツです。



3 スタンドを本製品に取り付けます。

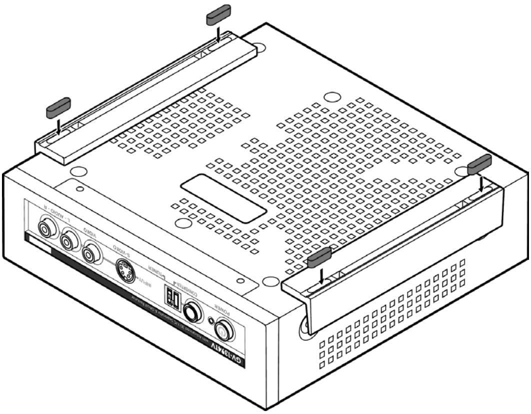
スタンドを押し、本製品にぴたりと合うようにします。

⇒カチッと音がし、スタンドが本製品に固定されます。



4 ゴム足を本製品に取り付けます。

スタンドにゴム足を４つ貼り付けます。



5 本製品をお使いください。

Memo

使えるようにしよう

本製品の使い方

本製品には、２つの使い方があります。
使い方によって作業が異なりますので、まずは使い方を決めてから先にお進みください。

パソコンに接続して使う

本製品をパソコンに接続することで、下のような使い方ができます。

●テレビを見る･録画する

本製品にはTVチューナーが付いていますから、アンテナと接続することでパソコン上でテレビを見ることができます。
もちろん、予約録画などの機能もありますから、パソコンをハードディスクレコーダーとしてお使いいただくことも可能です。

●ビデオなどのアナログデータをデジタルデータに変換

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。
そのまま録画することで、アナログデータをデジタルデータに変換できます。

参考

本製品で録画できるファイル形式

本製品では、AVI(DV形式), MPEG, WMV形式で録画することができます。

AVI(DV形式)の利点

・ビットレートに換算して25Mbps！
DVDビデオを上回る高画質のデジタルデータとなります。

・フレーム単位で編集ができる
フレーム単位でのみ圧縮を行うため、フレーム単位で高精度な編集が可能となります。
動画編集にこだわる人に最適のデータ形式です。

・音声データは無圧縮のため、高音質

【パソコンで使えるようにする】(26ページ)

DV 機器を接続して使う

本製品にDV機器を接続することで、下のような使い方ができます。

●ビデオなどのアナログデータをDVテープに保存

本製品には外部入力が付いていますから、ビデオデッキなどの映像機器と接続することで映像機器からの映像を入力することができます。
そのままDV機器を録画状態にすることで、アナログデータをDVテープに保存できます。

●テレビ番組をDVテープに録画する

本製品をパソコンに接続することで、パソコン上でテレビを見ることができます。
その際に、DV機器も接続するとDVテープにテレビ番組を録画できます。

注意

テレビ番組の録画にはパソコンが必要です

本製品を操作するために、パソコンとの接続が必要となります。
必ず、パソコンとDV機器の両方に接続してください。

【DV機器を使えるようにする】(44ページ)

パソコンで使えるようにする

本製品を、パソコンに接続して使えるようにします。
作業は下の順番で行います。

パソコンに接続する

パソコンに本製品を接続します。

注意

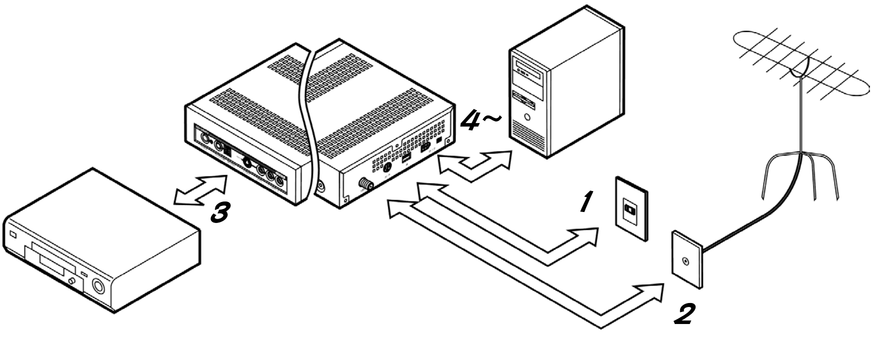
Windows XP/2000をお使いの場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

参考

作業する前に
本製品には「アンテナケーブル」、「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

映像機器との接続について
「Sビデオケーブル」と「コンポジットケーブル」では、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

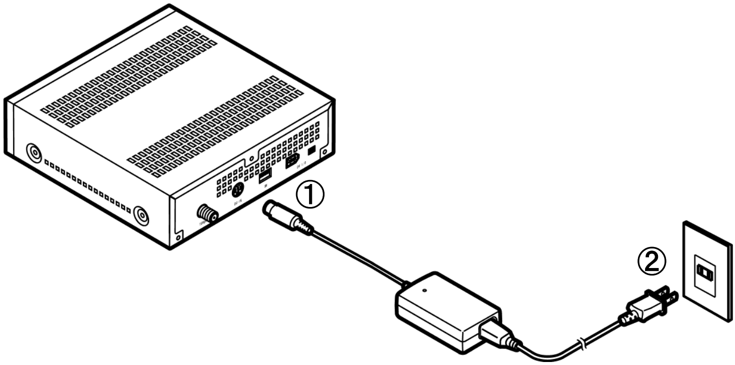
一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります
あらかじめご了承ください。



1 電源コンセントと接続します。

① 本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

② 本製品を電源コンセントに接続します。



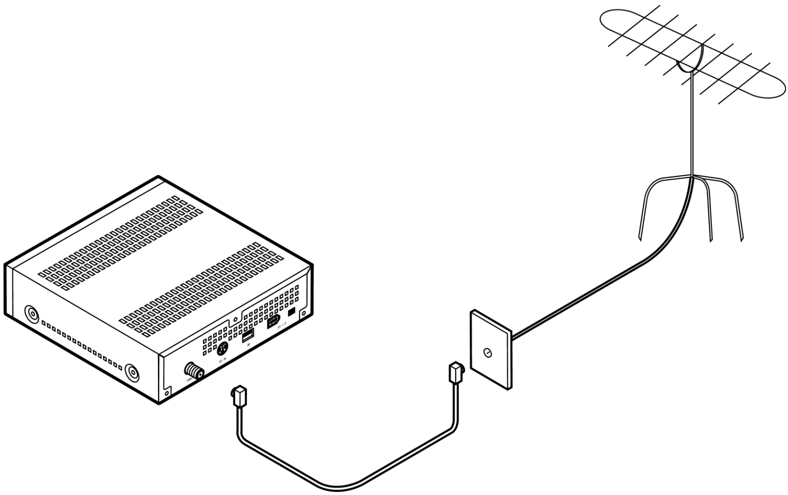
2 アンテナと接続します。

参考

テレビを受信しない方へ
ここの作業は、本製品でテレビ番組を受信する方のみ必要です。
外部入力のみお使いになる場合は、アンテナとの接続は必要ありません。
手順*3*にお進みください。

●テレビアンテナに接続する

本製品の「アンテナ入力」に「アンテナ線」を接続します。

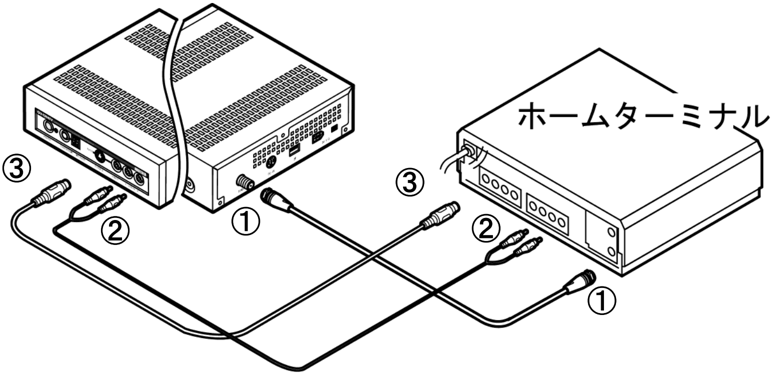


●ケーブルテレビのホームターミナルに接続する

① 本製品の「アンテナ入力」とホームターミナルの「ケーブル出力」を「アンテナケーブル」で接続します。

② 本製品の「音声入力」とホームターミナルの「音声出力」を「オーディオケーブル」で接続します。

③ 本製品の「Sビデオ入力」とホームターミナルの「Sビデオ出力」を「Sビデオケーブル」で接続します。



参考

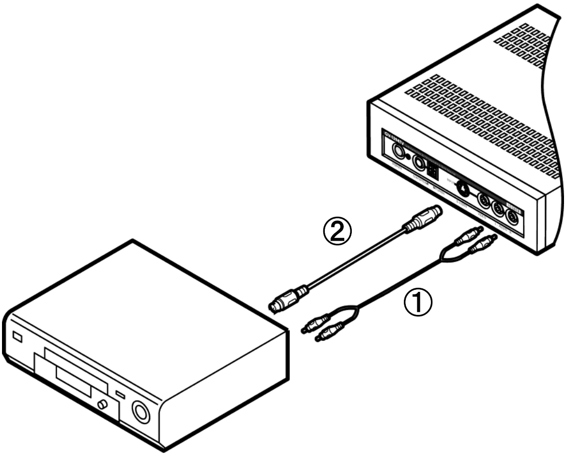
Sビデオで接続できない場合

本製品の「ビデオ入力」とホームターミナルの「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

3 映像機器と接続します。

映像機器からの映像を入力しない方へ
この作業は、本製品に映像機器からの映像を入力する方のみ必要です。
映像機器からの映像を入力されない場合は、映像機器との接続は必要ありません。手順4にお進みください。

① 本製品の「音声入力」と映像機器の「音声出力」を「オーディオケーブル」で接続します。
② 本製品の「Sビデオ入力」と映像機器の「Sビデオ出力」を「Sビデオケーブル」で接続します。



Sビデオで接続できない場合
本製品の「ビデオ入力」とホームターミナルの「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。
ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方がはっきりと表示されます。

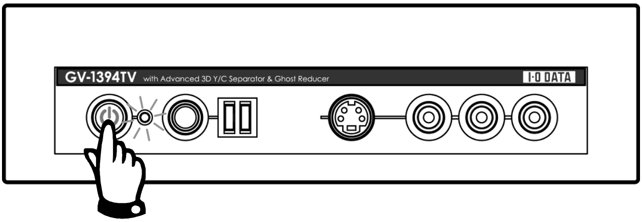
4 Windowsを起動します。

> 参考
> **Windows XP/2000の場合**
> コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

5 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを押します。

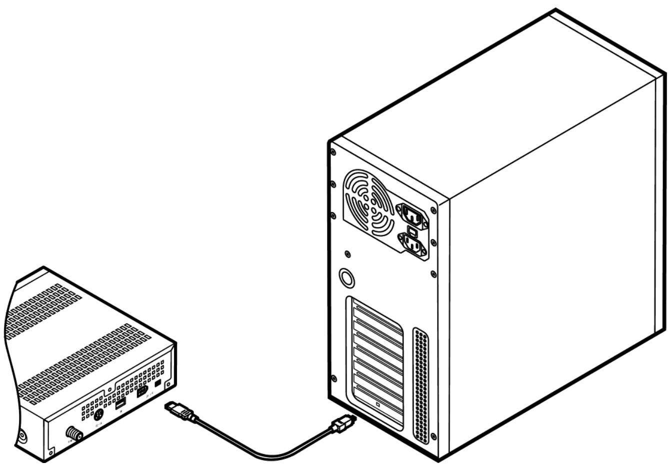
⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。



6 パソコンと本製品を接続します。

パソコンのIEEE 1394ポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。

⇒本製品がWindowsに認識され、インストールの画面が表示されます。



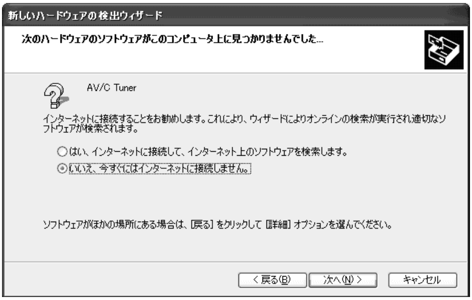
7 Windowsによって、認識のされ方が異なります。

●Windows XP

「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されます。

①［次へ］ボタンをクリックします。

②「インターネットに接続することをお勧めします。」と表示される場合があります。
その場合、［いいえ、今すぐにはインターネットに接続しません。］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。



③［完了］ボタンをクリックします。
※「このハードウェアをインストールできません」と表示されますが、問題ありません。

④本製品を接続したときの動作を設定します。
［何もしない］を選択し、［常に選択した動作を実行する］にチェックを付けます。その後、［OK］ボタンをクリックします。
※この設定は、お使いの用途によって変更していただいても問題ありません。



⑤【確認する】(35ページ)にお進みください。

●Windows 2000

必要なドライバが自動的にインストールされます。
インストールが終わったら、【確認する】（35ページ）にお進みください。

●Windows Me

「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

①［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。

②［完了］ボタンをクリックします。

⇒しばらくしてもう一度「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されます。

③［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］ボタンをクリックします。

④［完了］ボタンをクリックします。

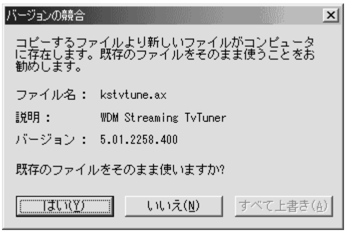
※「このデバイス用のソフトウェアが見つかりませんでした。」と表示されますが、問題ありません。

⑤【確認する】（35ページ）にお進みください。

参考

「バージョンの競合」画面が表示されたら

全て［はい］ボタンをクリックしてください。



●**Windows 98 SE**

必要なドライバが自動的にインストールされます。

インストールが終わったら、【確認する】(35ページ)にお進みください。

参考

途中でWindowsのCD-ROMを要求されたら

WindowsのCD-ROMを挿入し、しばらく待ってから［OK］ボタンをクリックしてください。



下の画面が表示されたら

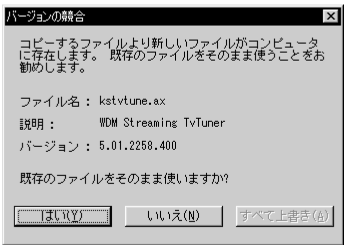
WindowsのCD-ROMを挿入し、［ファイルのコピー元］に、挿入したCD-ROMドライブの「WIN98」フォルダを指定してください。

例：CD-ROMドライブが(F:)の場合　　F:WIN98



「バージョンの競合」画面が表示されたら

全て［はい］ボタンをクリックしてください。



確認する

本製品が正しくインストールされているかを確認します。

1 「システムのプロパティ」を開きます。

●Windows XP

① ［スタート］→［マイコンピュータ］の順にクリックします。

② ［システム情報を表示する］をクリックします。

●Windows 2000/Me/98 SE

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

●Windows XP/2000

① ［ハードウェア］タブをクリックします。

② ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。

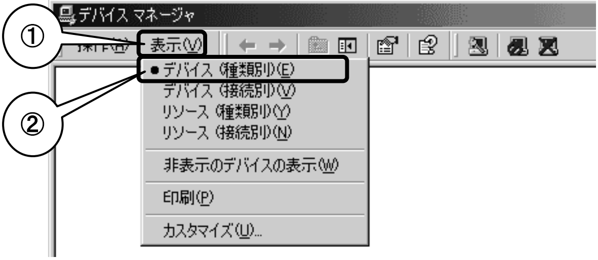
●Windows Me/98 SE

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別］の表示にします。

●Windows XP/2000

［表示］→［デバイス(種類別)］を選択します。



●Windows Me/98 SE

［種類別に表示］をクリックします。



4 Windowsによって、確認方法が異なります。

●Windows XP

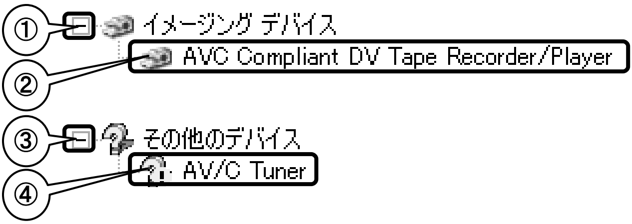
① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

② 本製品のドライバを確認します。
［AVC Compliant DV Tape Recorder/Player］

③ ［その他のデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。

④ 本製品のドライバを確認します。
［AV/C Tuner］
※［AV/C Tuner］に「！」マークが付いていますが、問題ありません

⑤ 【インストールする】（38ページ）にお進みください。



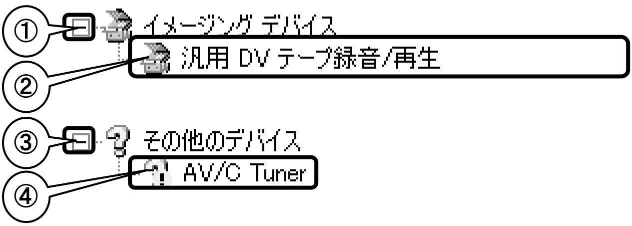
●Windows 2000/98 SE

① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
② 本製品のドライバを確認します。
［Microsoft DV Camera and VCR］
③ 【インストールする】(38ページ)にお進みください。



●Windows Me

① ［イメージングデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
② 本製品のドライバを確認します。
［汎用 DVテープ録音/再生］
③ ［その他のデバイス］の左にある⊞をクリックします。
⇒その下が表示されます。
④ 本製品のドライバを確認します。
［AV/C Tuner］
※［AV/C Tuner］に「！」マークが付いていますが、問題ありません
⑤ 【インストールする】(38ページ)にお進みください。





本製品のドライバに[!]が付いている
【本製品のドライバに［！］マークが付いている】(105ページ)をご覧ください。

インストールする

サポートソフトから必要なソフトウェアをインストールします。

> 注意
> **Windows XP/2000をお使いの場合**
> コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 サポートソフトを挿入します。

サポートソフトCD-ROMを、CD-ROMドライブに挿入します。

⇒「GV-1394TVインストールメニュー」が起動します。

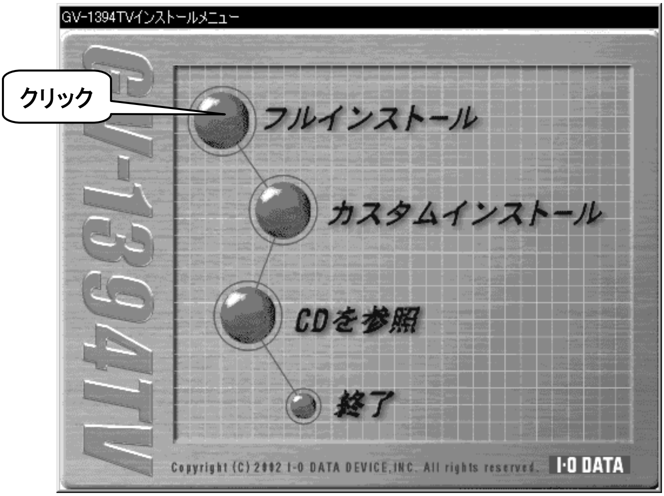
> 注意
> **「GV-1394TVインストールメニュー」が起動しない**
> 「マイコンピュータ」を開き、［GV1394TV_xxx］→［DVMENU］の順にダブルクリックしてください。
> ※ xxxには数字（バージョン）が入ります。
>
> **下のようなエラー画面が表示された**
> 画面に表示されているソフトウェアをアンインストールしてください。



2 [フルインストール]をクリックします。

⇒インストール画面が表示されます。

「I-O DATA DigitalTV Recorder」「I-O DATA MediaSink」「Windows Media ランタイム」「DirectX 8.1 ランタイム」の順にインストール作業が行われます。



参考

カスタムインストール

「I-O DATA DigitalTV Recorder」「I-O DATA MediaSink」「Windows Media ランタイム」「DirectX 8.1 ランタイム」を個別にインストールできます。

CDを参照

CD-ROM内を表示します。

終了

GV-1394TVインストールメニューを閉じます。

3 「I-O DATA DigitalTV Recorder」をインストールします。

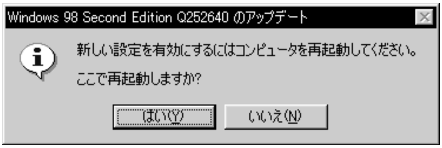
画面の指示に従って、インストールしてください。
完了時に、再起動しないように［いいえ、あとでコンピュータを再起動します］を選んでから［完了］ボタンをクリックしてください。

参考

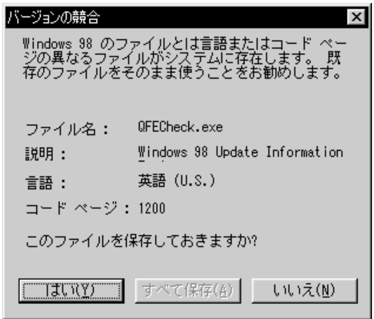
［デスクトップにショートカットを作成する］
インストール作業内にこのようなチェック項目があります。
これをチェックすると、Windowsのデスクトップ上に「I-O DATA DigitalTV Recorder」関係のアイコンを作ります。

Windows 98 SEの場合
Windows 98 Second Editionのアップデートが２回表示されます。
それぞれアップデートを行ってください。

・途中で再起動を要求されますが、［いいえ］ボタンをクリックしてください。



・途中で「バージョンの競合」画面が表示される場合があります。全て［はい］ボタンをクリックしてください。



4 「I-O DATA MediaSink」をインストールします。

画面の指示に従って、インストールしてください。

5 「Windows Media ランタイム」をインストールします。

①英語の使用許諾契約画面が表示されます。
よくお読みになり、同意する場合は［Yes］ボタンをクリックします。
②もう一度、英語の使用許諾契約画面が表示されます。
よくお読みになり、同意する場合は［Yes］ボタンをクリックします。
③インストールが終わったら、完了画面が表示されます。
［OK］ボタンをクリックします。

参考

下のような画面が表示される場合がありますが、問題ありません

この画面が表示されても、動作には問題ありません。
［OK］ボタンをクリックし、作業を進めてください。

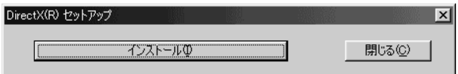


6 「DirectX 8.1 ランタイム」をインストールします。

①使用許諾契約画面が表示されます。
同意する場合は［はい］ボタンをクリックします。
②左のボタンによって作業が異なります。

・左のボタンが［インストール］

［インストール］ボタンをクリックし、インストールしてください。



・左のボタンが［DirectXの再インストール］

すでに新しいDirectXがインストールされています。
［閉じる］ボタンをクリックし、閉じてください。



③インストールが終わると、再起動を要求する画面が表示されます。
再起動し、【チャンネル設定をする】(42ページ)へお進みください。

チャンネル設定をする

本製品のチューナーを設定します。

1 「プリセットチャンネル設定」が起動します。

パソコンを再起動すると、「プリセットチャンネル設定」が起動します。

2 地域を選択します。

① ２つの設定ボックスを設定し、お住まいの地域を指定します。

② ［ロード］ボタンをクリックします。

⇒右の「チューナーチャンネル」「放送局名」にお住まいの地域にあったチャンネルが設定されます。

3 設定したチャンネルを確認します。

右の「チューナーチャンネル」「放送局名」を確認し、普段ご覧のチャンネルが設定されていることを確認します。



スキャンについて

［スキャン開始］ボタンを押すと、チューナーが認識したチャンネルが全て表示されます。表示されたチャンネルを右にドラッグ＆ドロップすれば、そのチャンネルを登録できます。

4 ［OK］ボタンをクリックします。

チャンネル設定は完了です。

予約録画の準備

スタンバイ状態からの回復時の設定を確認します。
この設定が行われていないと、予約録画に失敗するおそれがあります。

1 コントロールパネルを開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 「電源オプション（電源の管理）」を起動します。

［電源オプション（電源の管理）］アイコンをダブルクリックします。

3 ［詳細（設定）］タブをクリックします。

4 パスワードの設定を確認します。

［スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める］または［スタンバイおよび休止状態からの回復時にパスワードを入力する］があるかを確認します。
ある場合は、それのチェックを外してください。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

⇒設定確認は完了しました。

パソコンで使えるようになりました。

DV機器を使えるようにする

本製品に、DV機器を接続して使えるようにします。

参 考

接続するDV機器

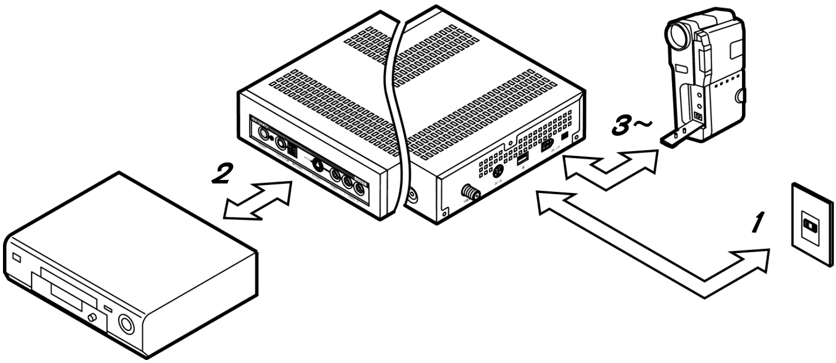
DVデータの入力に対応している必要があります。

作業する前に

本製品には「ビデオ（Sビデオ）ケーブル」や「オーディオケーブル」は添付されておりません。
あらかじめ、別途ご用意ください。

一部のビデオ機器・ゲーム機の映像は正しく表示されない場合があります

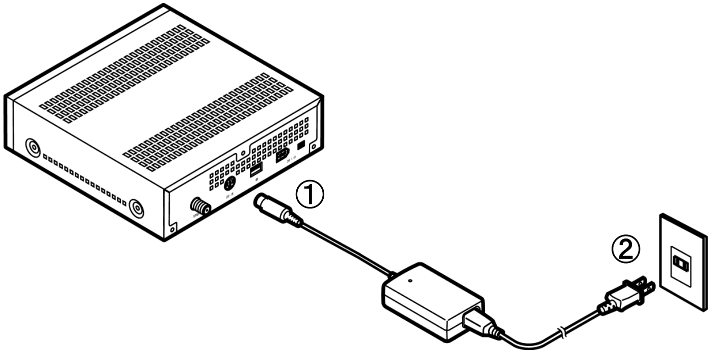
あらかじめご了承ください。



1 電源コンセントと接続します。

① 本製品の「DCジャック」に、添付のACアダプタを接続します。

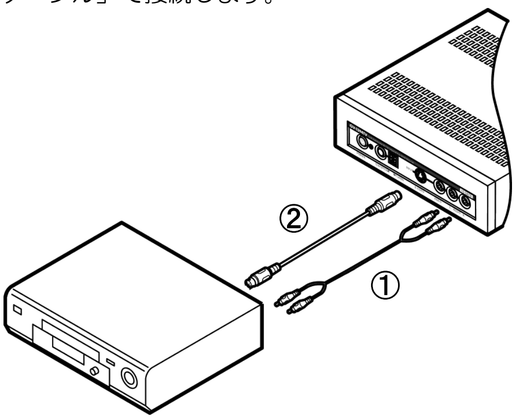
② 本製品を電源コンセントに接続します。



2 映像機器と接続します。

① 本製品の「音声入力」と映像機器の「音声出力」を「オーディオケーブル」で接続します。

② 本製品の「Sビデオ入力」と映像機器の「Sビデオ出力」を「Sビデオケーブル」で接続します。



参考

Sビデオで接続できない場合

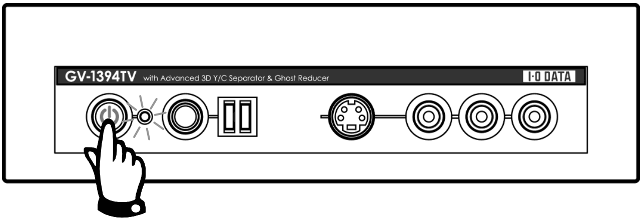
本製品の「ビデオ入力」とホームターミナルの「ビデオ出力」を「コンポジットケーブル」で接続することもできます。

ただし、「Sビデオケーブル」を使って接続した方が、はっきりと表示されます。

3 本製品の電源を入れます。

電源スイッチを押します。

⇒本製品の電源ランプが青色に点灯します。

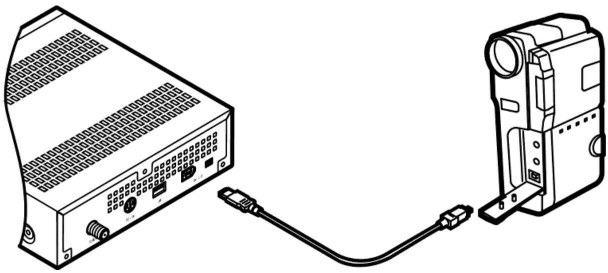


4 DV機器の電源を入れます。

5 DV機器と本製品を接続します。

DV機器のi.LINKポートと本製品のDV端子を、添付のIEEE 1394ケーブルで接続します。

⇒本製品がDV機器に認識されます。



DV機器で使えるようになりました。

パソコンで使ってみよう

アプリケーションについて

本製品をパソコンで使うためのアプリケーションについて説明します。

●I-O DATA DigitalTV Recorder

テレビやビデオ機器からの映像を、DV(AVI)・MPEG・WMV・WAVE・BMP形式にキャプチャすることができるアプリケーションです。

●I-O DATA Channel Manager

予約録画の設定・管理を行うアプリケーションです。

●I-O DATA Channel Commander

本製品のチューナー・デバイス設定・チャンネルプリセット情報の設定を行うアプリケーションです。「DigitalTV Recorder」以外のDVキャプチャソフトで本製品を使って録画する時に使用します。

●I-O DATA Audio Changer

「主・副音声(2CH)」の音声で録画したAVIファイルから、任意の音声を持つAVIファイルを作成するアプリケーションです。

●I-O DATA MediaSink

録画したファイルを管理・再生するアプリケーションです。
また、映像データをMPEG-2やMPEG-4形式に変換することもできます。

●Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE with AC-3
Ulead VideoStudio 6 SE
Ulead PhotoImpact 7 SE
Ulead Cool 3D 3 SE
reserMail

詳しくは、【サービス品のソフトウェア】(93ページ)をご覧ください。

テレビを見る

DigitalTV Recorder を起動する

● **[スタート]ボタンからDigitalTV Recorderを起動します。**

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［DigitalTV Recorder］の順にクリックします。

参考

インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合

Windowsのデスクトップ上にアイコンが作られています。
これをダブルクリックすることでも、DigitalTV Recorderを起動できます。

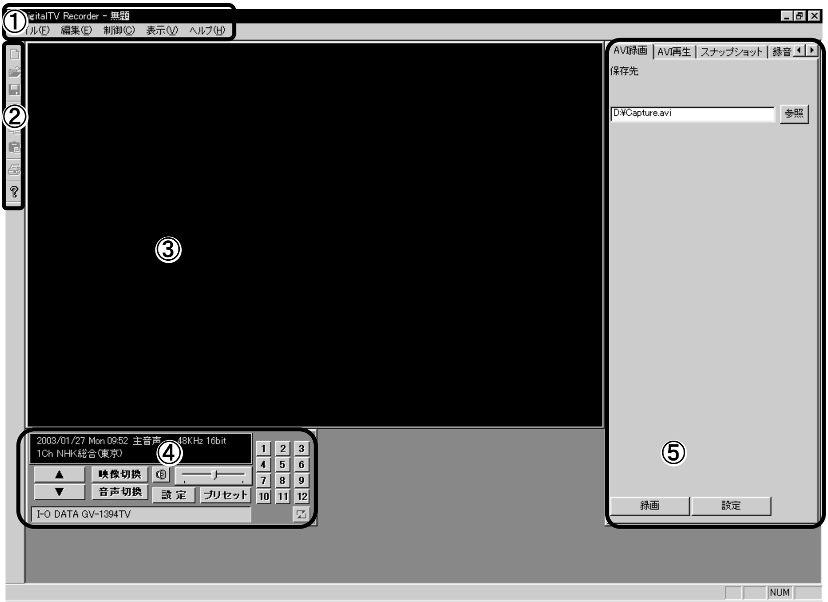


DigitalTV Recorder

注意

DigitalTV Recorderが起動・動作中は、IEEE 1394機器を取り外さない

正しく動作しなくなったり、録画中のデータが破損するおそれがあります。



① メニュー	操作・設定のためのメニューを表示します。 詳しくは、ヘルプをご覧ください。
② アイコン	?：クリックすると、ヘルプを表示することができます。
③ プレビューウィンドウ	チューナーや映像機器からの映像などが表示されます。
④ コントロールウィンドウ	本製品を操作・設定のためのウィンドウです。 次ページの【コントロールウィンドウ】をご覧ください。
⑤ ファンクションパネル	それぞれのタブで、操作・設定を行えます。 詳しい操作は、ヘルプをご覧ください。 ［AVI録画］［MPEG録画］［WMV録画］タブ 【録画する】(55ページ) ［AVI再生］タブ 【再生する】(66ページ) ［スナップショット］タブ 【静止画を撮る】(63ページ) ［録音］タブ 【録音する】(64ページ)

●コントロールウィンドウ



① 番組情報	現在日時、主・副音声表示、オーディオ周波数、オーディオレベルメーター、現在のプリセットチャンネルを表示します。
② チャンネルアップ/ダウン	クリックすると、現在のプリセットチャンネルより１つ上下します。
③ 映像切換	クリックするたびに、［Sビデオ］→［ビデオ］→［チューナー］の順に切り換えられます。
④ 音声切換	音声多重放送の場合、クリックするたびに［主音声］→［副音声］→［主副］→［主副(2ch)］→［主音声］の順に切り換えられます。
⑤ ミュート	クリックすると、音声が最小になります。 もう一度クリックすると、解除されます。
⑥ 音量スライダー	左右に動かすことで音量を増減します。 右に動くほど音量は大きくなります。
⑦ 設定	画質などの設定を行います。 詳しくは、ヘルプをご覧ください。
⑧ プリセット	プリセットチャンネルを設定します。
⑨ 接続機器情報	ソフトウェアが使っている機器名を表示します。
⑩ チャンネル切換	設定したプリセットチャンネルに切り換えます。 は、プリセットチャンネルのページを切り換えます。

チャンネルを変更する

●プリセットチャンネルを切り換える

１～２４のボタンをクリックし、チャンネルを切り換えます。
１２個のボタンを表示していますので、切り換えたいチャンネルがない場合は、をクリックし、プリセットチャンネルのページを切り換えます。
また、［チャンネルアップ/ダウン］ボタンをクリックし、切り換えることができます。



参考

プリセットチャンネルを設定する
コントロールウィンドウの［プリセット］ボタンをクリックすることで、「プリセットチャンネル設定」が起動します。
設定については、【チャンネル設定をする】(42ページ)をご覧ください。

●映像機器の映像に切り換える

1 **映像機器の電源を入れます。**
ビデオデッキなどの場合は、再生してください。

2 **[映像切換]ボタンをクリックします。**
⇒接続した外部入力になれば、映像が表示されます。



画面サイズを変更する

1 プレビューウィンドウを右クリックします。

⇒右クリックメニューが表示されます。

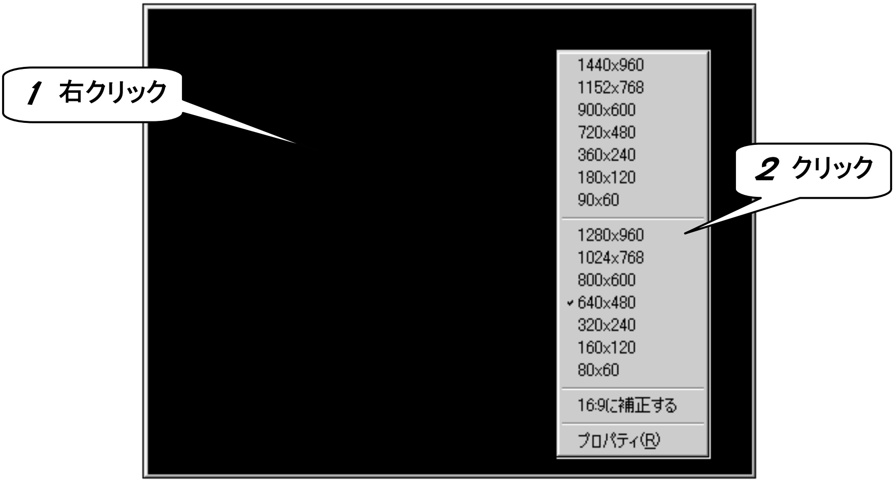
2 変更したいサイズをクリックします。

⇒プレビューウィンドウの画面サイズが変更されます。

参考

16:9に補正する
プレビューウィンドウ内に、16:9の比率で映像を表示します。

プロパティ
映像についての設定を行えます。
詳しくは、ヘルプをご覧ください。



音声を切り換える

●[音声切換]ボタンをクリックします。

音声多重放送の場合、［副音声］→［主副］→［主副(2ch)］→［主音声］→［副音声］…と、音声が切り換えられます。



主音声	音声多重放送時、チューナー音声として主音声を選択します。
副音声	音声多重放送時、チューナー音声として副音声を選択します。
主副	音声多重放送時、チューナー音声として左チャンネルに主音声、右チャンネルに副音声を選択します。
主副(2ch)	音声多重放送時、本体で設定した音声周波数によって動作が変わります。 ・本体で設定した音声周波数が48KHzの時 「主副」と同じになります。 ・本体で設定した音声周波数が32KHzの時 ー通常時や録画中の音声出力 主音声 ー録画されるAVIファイルの音声 主音声と副音声を別チャンネルで記録します。

参考

本体で音声周波数を設定する

【音声の周波数を設定する】(89ページ)をご覧ください。

主音声と副音声を別チャンネルで記録したAVIファイル

そのまま再生した場合、主音声が再生されます。
副音声などで再生したい場合は、「Audio Changer」を使って他の音声のAVIファイルを作成してください。
詳しい使用方法については、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［GV-1394TVサポートソフト ヘルプ］をご覧ください。

録画する

今見ている映像を録画する

DigitalTV Recorderで見ている映像を録画する方法を説明します。
なお、説明している手順は、最も高画質なAVI(DV形式)で録画する方法です。

1 録画したい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(49ページ)をご覧ください。

2 [AVI録画]タブをクリックします。



[MPEG録画]タブ、[WMV録画]タブ

本製品はDV形式のAVIファイル以外にも、MPEGファイルやWMV(Windows Media Video)ファイルで録画することができます。
録画したい形式のタブを選べば、その形式で録画することができます。

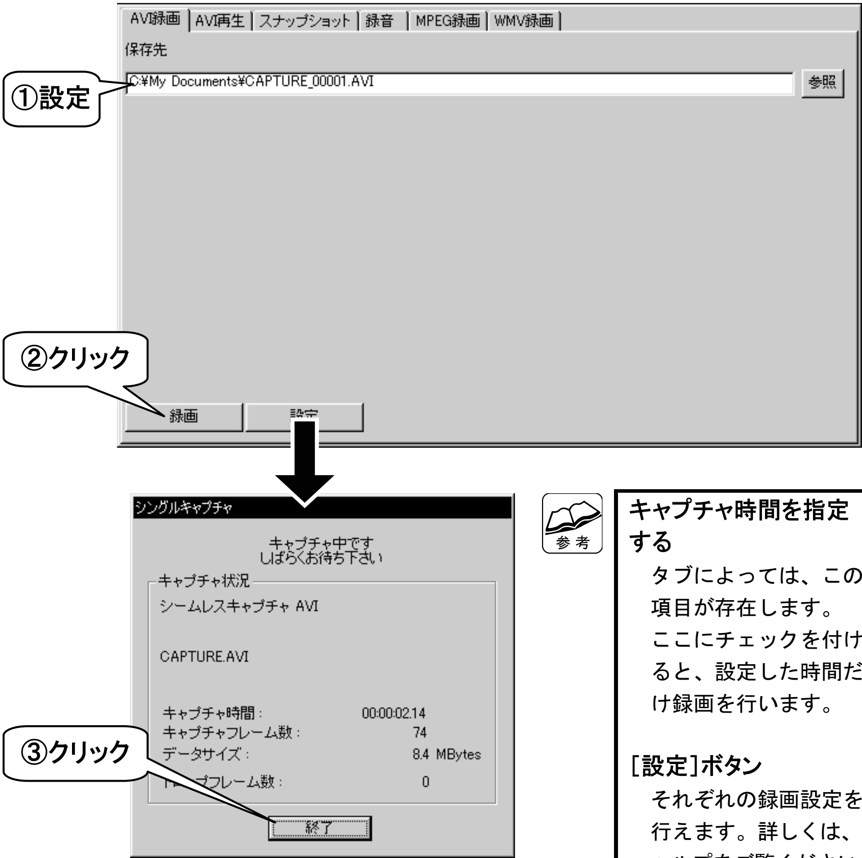
3 録画します。

① 「保存先」に録画する映像データのファイル名を設定します。

② ［録画］ボタンをクリックします。

⇒録画用画面が表示され、録画が開始されます。

③ 録画を終了するときは、［終了］ボタンをクリックします。



参考

キャプチャ時間を指定する

タブによっては、この項目が存在します。
ここにチェックを付けると、設定した時間だけ録画を行います。

[設定]ボタン

それぞれの録画設定を行えます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

これで映像を録画することができました。

参考

録画容量の目安

AVI（DV形式）での録画で、1分間で約220Mバイトとなります。
その他の形式では、これを上回ることはありません。

録画データの最大容量

AVI※	約2Gバイト
AVI 2.0※	Windows Me/98･････････約4Gバイト
MPEG	Windows XP/2000･･･････FATなら約4Gバイト
WMV	NTFSなら約2Tバイト

※ ［AVI録画］タブ内の［設定］ボタンで設定できます。

予約録画する

Channel Managerを使って予約録画する方法を説明します。

1 iEPG対応Webページを開きます。



参考

インターネット接続環境が必要です

iEPG対応Webページで番組を選ぶまでの間、インターネット接続している必要があります。

インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合

インストール時に［デスクトップにショートカットを作成する］のチェックを外していなければ、デスクトップにインターネットTVガイドへのショートカットが作成されます。



注意

地域をご確認ください

お住まいの地域とiEPG対応Webページの地域が合っていないと、正しく録画されないおそれがあります。

2 予約録画したい番組を指定します。

⇒「Channel Manager」が起動します。

参考

iEPG対応Webサイトの操作について

それぞれのWebページの案内をご覧ください。

3 予約録画の設定を確認・設定します。

① 録画する番組のチャンネルを確認・設定します。

② 録画する音声を確認・設定します。

主・副音声	主音声を左音声(L)、副音声を右音声(R)に設定します。
主・副音声(2CH)	主音声・副音声の2chを別チャンネルで保存できます。 ※ 本体の設定で音声周波数を「32KHz 12bit モード」にする必要があります。 【音声の周波数を設定する】(89ページ)をご覧ください。

③ 「番組名」「番組内容コメント」を確認・設定します。

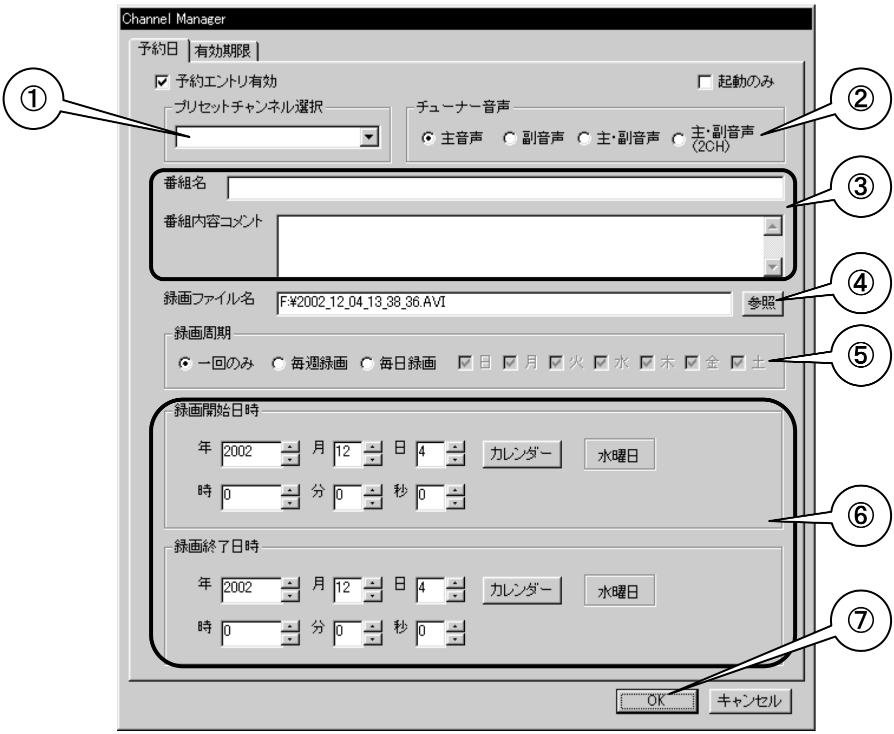
④ 「録画ファイル名」を確認・設定します。

⑤ 「録画周期」を確認・設定します。

毎週録画	毎週、指定した曜日・時間に録画を行います。
毎日録画	毎日、指定した時間に録画を行います。

⑥ 「録画開始日時」「録画終了日時」を確認・設定します。

⑦ [OK] ボタンをクリックします。



［有効期限］タブ
予約設定の有効期限を設定します。
「毎週録画」や「毎日録画」をお使いの場合に、設定します。

4 録画予約が一覧にあることを確認します。

確認したら、［閉じる］ボタンをクリックします。

予約録画の準備は完了です。

「Channel Manager」を終了しないでください
「Channel Manager」を終了していると、設定した予約録画を実行できません。
予約録画の設定がある場合は、「Channel Manager」を終了しないでください。
※ 「Channel Manager」は右下のタスクトレイに常駐しています。
タスクトレイ内のアイコンを右クリックして［常駐を終了する］を選べば、終了することができます。

予約録画を設定後、プリセットチャンネルの設定を変更しないでください
予約録画を設定した後で、プリセットチャンネルの設定（放送局やチューナーチャンネルなど）を変更した場合、正しく予約録画が動作しない可能性があります。

録画予約を変更・削除する
「Channel Manager」を起動し、対象となる録画予約を選んで、［編集］［削除］ボタンをクリックしてください。

録画されるAVIファイルの設定について
「DigitalTV Recorder」の［AVI録画］タブ内の設定と同じ設定となります。

他のソフトウェアで録画する

添付の「Ulead VideoStudio 6 SE」や「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」などのDV録画に対応したソフトウェアでは、本製品の映像を録画することができます。

1 録画するソフトウェアを、DV録画を行える状態にします。

DV録画の方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

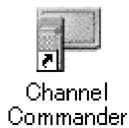
2 「Channel Commander」を起動します。

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→[Channel Commander]の順にクリックします。

参考

インストール時にデスクトップにショートカットを作成した場合

Windowsのデスクトップ上にアイコンが作られています。
これをダブルクリックすることでも、Channel Commanderを起動できます。



3 録画する映像を表示させます。

録画するソフトウェアに映像が表示されていない場合、［映像切換］ボタンをクリックします。
数回クリックすれば、映像が表示されます。

4 テレビ番組を録画する場合は、チャンネルを変更します。

テレビ番組を録画する場合、録画する番組にチャンネルを変更します。

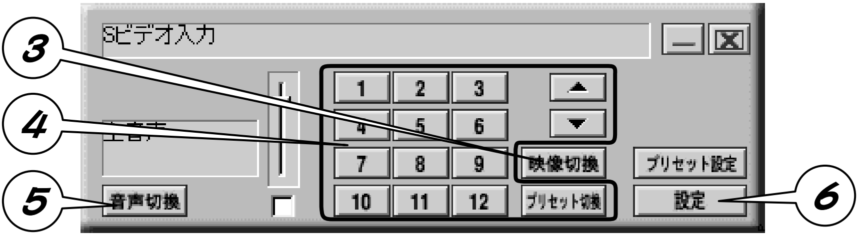
［１］～［２４］：それぞれのプリセットチャンネルに変更します。
［▲］［▼］：現在のチャンネルの前後の、設定されているプリセットチャンネルに変更します。
［プリセット切換］：プリセットページを切り換えます。

5 音声多重のテレビ番組を録画する場合は、音声を設定します。

多重音声番組の場合、［音声切換］ボタンで音声を切り換えることができます。

6 ［設定］ボタンを押し、画質調整を行います。

詳しい設定については、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［GV-1394TVサポートソフト ヘルプ］をご覧ください。



7 録画します。

録画方法については、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

静止画を撮る

1 静止画を撮りたい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(49ページ)をご覧ください。

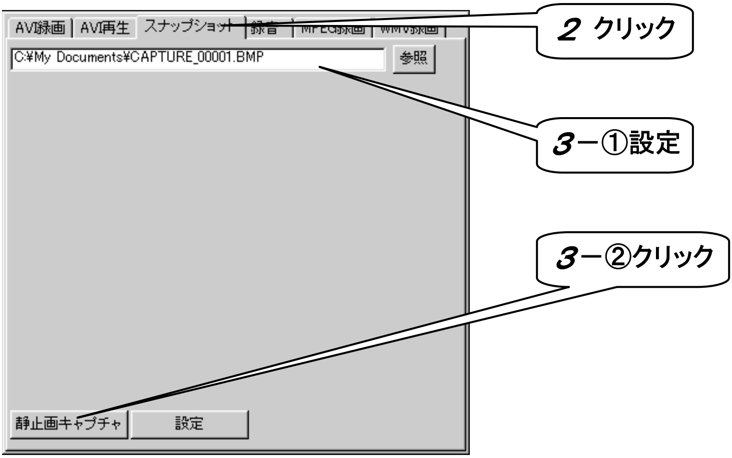
2 [スナップショット]タブをクリックします。

3 撮影します。

① 撮影する静止画データのファイル名を設定します。

② ［静止画キャプチャ］ボタンをクリックします。

⇒静止画がBMP形式で撮られます。



参考

撮影される静止画のファイル形式

サイズ：720×480　カラー：24bit RGB　形式：BMP

ファイル名の連番について

「スナップショット」パネル内で右クリックすることで、「ファイル名を自動生成する」を設定することができます。

これにチェックを付けた場合、ファイル名が自動的に連番で設定されます。

[設定]ボタン

撮影する静止画の設定を行えます。詳しくは、ヘルプをご覧ください。

これで静止画を撮ることができました。

録音する

1 録音したい映像を表示します。

方法については、【テレビを見る】(49ページ)をご覧ください。

2 [録音]タブをクリックします。

3 録音します。

① 録音する音声データのファイル名を設定します。

② チャンネルを選べる場合は、設定します。

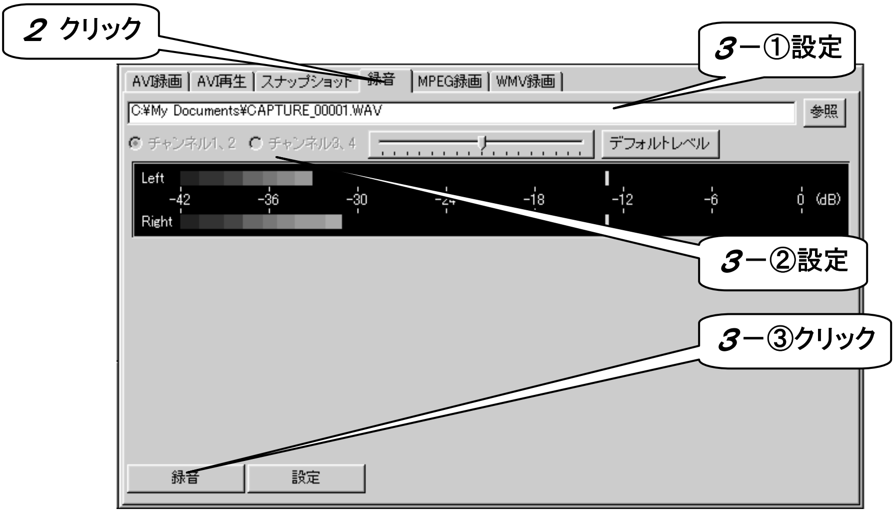
チャンネル1、2　主音声を録音します。

チャンネル3、4　副音声を録音します。

※ 録音するデータが音声多重の場合に、設定することができます。

③ ［録音］ボタンをクリックします。

⇒「音声キャプチャ」画面が表示されます。



参考

録音されるデータのファイル形式

形式：Windows WAVE

参考

スライダー
中央から左に行くほど音量を大きく、右に行くほど音量を小さく設定します。

[デフォルトレベル]ボタン
スライダーを中央に戻します。

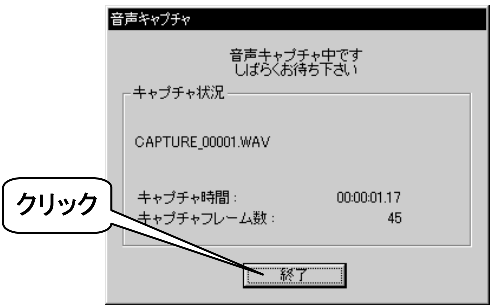
[設定]ボタン
元となる映像と録音する音声データを同期するかどうか設定できます。
詳しくは、ヘルプをご覧ください。

ファイル名の連番について
「録音」パネル内で右クリックすることで、「ファイル名を自動生成する」を設定することができます。
これにチェックを付けた場合、ファイル名が自動的に連番で設定されます。

録音する音声データのサンプリング周波数について
本体で設定した元になるデータに合わせて、自動的に設定されます。
詳しくは、【音声の周波数を設定する】(89ページ)をご覧ください。

4 録音を終了するときは、[終了]ボタンをクリックします。

⇒録音が終了されます。



これで録音することができました。

再生する

AVI ファイルを再生する

参考

ここでの方法は、DigitalTV Recorderを使うものです

他の方法でも再生することができます。こちらの方法もご覧ください。

【その他のファイルを再生する】(68ページ)

【MediaSinkでデータ管理する】(69ページ)

1 [AVI再生]タブをクリックします。

2 再生したいファイルを、プレイリストに追加登録します。

再生したいAVIファイルを、プレイリストにドラッグ＆ドロップします。

参考

プレイリストの内容を保存する

［リスト保存］ボタンをクリックすることで、プレイリストをファイルに保存できます。

読み込むときは、［リスト読み込み］ボタンをクリックしてください。

3 再生します。

▶ ボタンをクリックします。

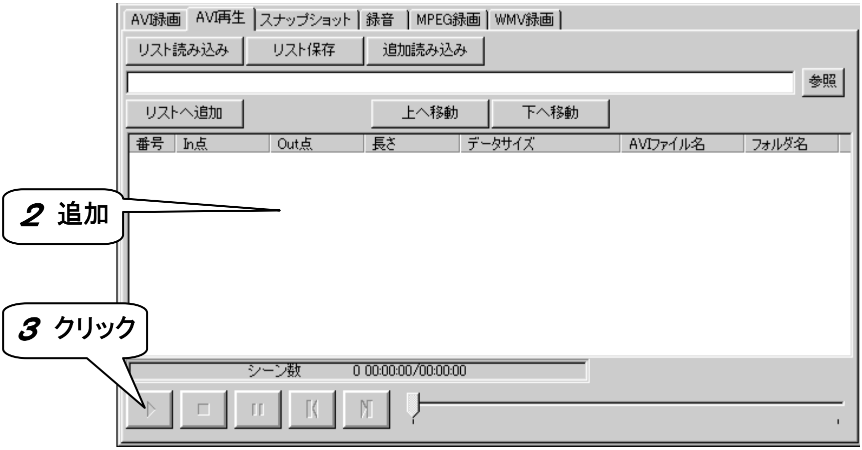
⇒プレイリストに登録されているファイルが、上から順に再生されます。

参考

1つのファイルだけを再生する

再生したいファイルを右クリックし、［AVIファイルを再生する］をクリックすることで、「ファイル再生」画面が表示されます。

詳しくはヘルプをご覧ください。



再生中の操作

 ····· プレイリストを再生する

 ····· プレイリストの再生を停止します。

 ····· プレイリストの再生を一時停止します。

 ····· 映像を１フレーム戻して一時停止します。

 ····· 映像を１フレーム進めて一時停止します。

 ··· プレイリストの再生位置を変更します。
一番左がファイルの先頭、一番右がファイルの末尾です。

これで再生することができました。

「主・副音声(2CH)」にして録画したデータについて

そのデータをそのまま再生した場合、主音声にて再生されます。
録画データの音声チャンネルを変更したい場合は、「I-O DATA Audio Changer」をお使いください。
詳しい使用方法については、［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA DigitalTV Recorder］→［GV-1394TVサポートソフト ヘルプ］をご覧ください。

その他のファイルを再生する

エクスプローラなどで、再生したいファイルをダブルクリックしてください。
関連付けられたアプリケーションが起動し、再生されます。

注意

MPEGファイルを再生できない
【MPEGファイルを再生できない】(116ページ)をご覧ください。

WMVファイルを再生できない
【WMVファイルを再生できない】(116ページ)をご覧ください。

参考

主音声と副音声を別チャンネルで記録したAVIファイル
そのまま再生した場合、主音声が再生されます。
副音声などで再生したい場合は、「Audio Changer」を使って他の音声のAVIファイルを作成してください。
詳しい使用方法については、[スタート] → [(すべての) プログラム] → [I-O DATA DigitalTV Recorder] → [GV-1394TVサポートソフト ヘルプ] をご覧ください。

MediaSinkでデータ管理する

MediaSinkを使えば、本製品で録画・録音したファイルを管理することができます。

ここでの方法は、使用例です
　詳しい操作方法については、MediaSinkのヘルプをご覧ください。

MediaSink を起動する

● [スタート]ボタンからMediaSinkを起動します。

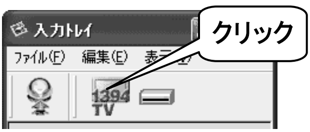
［スタート］→［（すべての）プログラム］→［I-O DATA MediaSink］→［MediaSink］の順にクリックします。

データを入力する

●入力トレイからデータを入力する

1 入力トレイの[1394TV]ボタンをクリックします。

⇒今までに録画したAVIファイルのデータが表示されます。



録画したAVIファイルのデータが表示されない

録画してから移動したAVIファイルのデータは表示されません。
移動先から、【エクスプローラからデータを入力する】(本ページ)の方法で入力してください。

2 MediaSinkに入力するデータを選びます。

複数のデータを選ぶ

[Ctrl] キーを押しながら、データをクリックしてください。

全てのデータを選ぶ

[編集] → [全てを選択] の順にクリックします。

3 [MediaSinkへ移動]ボタンをクリックします。

⇒選んだデータがMediaSinkに入力されます。



入力トレイから入力されたデータについて

実際のファイルが、MediaSinkにコピーされたわけではありません。
そのため、MediaSinkにデータを入力後に、そのデータのファイルを移動・削除すると、入力されたデータも消えてしまいます。

●エクスプローラからデータを入力する

1 Windowsのエクスプローラでデータを探します。

2 データを「MediaSink」へドラッグ＆ドロップします。

⇒データがMediaSinkに入力されます。

エクスプローラから入力されたデータについて

実際のファイルが、MediaSinkにコピーされています。
そのため、MediaSinkにデータを入力後に、そのデータのファイルを移動・削除しても問題ありません。

データを見る

●サムネイルを見る

1 サムネイル表示にします。

［表示］→［サムネイル］の順にクリックします。
⇒データがサムネイル表示されます。

2 サムネイルを見やすい大きさに変更します。

［サムネイルサイズ変更］スライダーバーを動かしてください。



●データを見る

見たいデータをダブルクリックしてください。
関連付けられたアプリケーションが起動し、再生されます。

データを管理する

MediaSinkでは、「グループ」というものの中にデータを入れることができます。

●グループを作る

1 [グループ作成]ボタンをクリックします。

⇒「グループ作成/変更」画面が表示されます。



参考

もう1つの作成方法

作成したい位置のグループを右クリックし、表示される［グループ作成］をクリックすることで、その下に新しいグループを作ることができます。

2 新しいグループの名前を入力します。

名前を入力したら、［OK］ボタンをクリックします。

⇒現在選択している場所の下に新しくグループが作成されます。



参考

グループの削除・名称変更

①削除・名称変更したいグループを右クリックします。

②表示された［グループ削除］または［グループ名変更］をクリックします。

●グループへのデータ移動

移動したいデータを、移動したいグループにドラッグ＆ドロップします。

⇒データが移動します。

データを探す

●「メディアデータ検索」による検索

1 ［検索ウィザード起動］ボタンをクリックします。

⇒「メディアデータ検索」画面が表示されます。



2 検索条件を設定します。

条件を設定し、［条件追加］ボタンをクリックします。

⇒右側に条件が追加されます。



参考

条件の削除

削除したい条件を選び、［条件削除］ボタンをクリックします。

条件の保存･読み込み

設定した条件を［保存］［読み込み］ボタンにより、保存・読み込みすることができます。

3 [検索開始]ボタンをクリックします。

⇒設定した条件による検索が開始されます。
　検索の結果は画面の下にあるリストに表示されます。



参考

検索結果の反映

［検索済みデータグループにコピー］ボタンや［検索済みデータグループに移動］ボタンをクリックすることで、検索されたデータを「検索済みデータ」グループにコピー／移動できます。

●「グルーピング」による検索

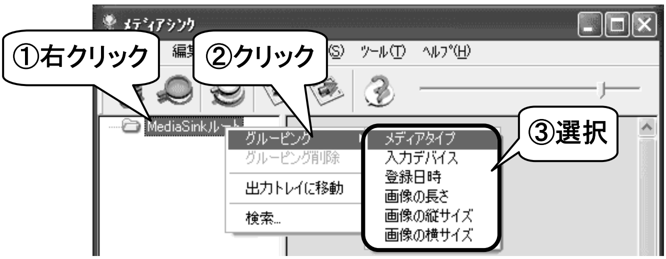
1 ［自動振り分けグループ］モードにします。

［自動振り分けグループ］タブをクリックします。



2 「グルーピング」します。

グループを右クリックし、［グルーピング］をクリックします。
さらにその横の振り分け条件を選んでください。
⇒自動的にグループが作成され、その中にデータが振り分けられます。



3 「グルーピング」を繰り返してデータを探します。

グルーピングされたグループをさらにグルーピングすることで、データを探すことができます。

MPEG ファイルに変換する

1 「出力トレイ」を表示します。

［出力トレイ表示］ボタンをクリックします。

⇒「出力トレイ」が表示されます。



2 出力したい動画データを、出力トレイに表示します。

出力したい動画データを、出力トレイにドラッグ＆ドロップします。

⇒動画データが出力トレイに表示されます。

3 「出力ドライバ設定」を開きます。

出力トレイの［ファイル］→［プロパティ］を開きます。

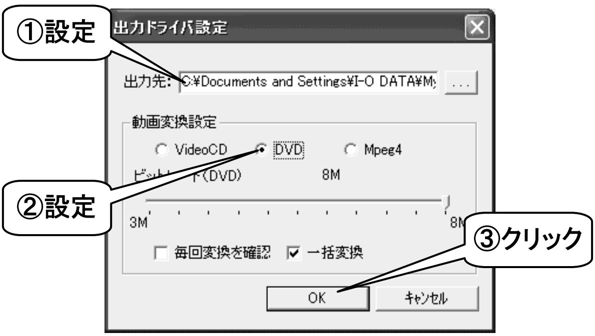
⇒「出力ドライバ設定」画面が表示されます。

4 「動画変換設定」を[DVD]に設定します。

① 「出力先」に、MPEGファイルを作成する場所を設定します。

② 「動画変換設定」を［DVD］に設定します。

③ ［OK］ボタンをクリックします。



5 動画データを選んで、START ボタンをクリックします。

出力トレイの動画データを選んで、START［出力開始］ボタンをクリックします。

⇒動画データがメディアコンバータに移動されます。
　メディアコンバータが、動画データをMPEGファイルに変換します。



DVDに書き込む

添付の「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」を使って、DVDを作成する方法を説明します。

> **ここで説明されている手順は作業例です**
> 実際の作業を行う際は、「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」のオンラインマニュアルも併せてご覧ください。

録画した映像をDVDに書き込む	本ページ
DVDに直接録画する	82ページ

録画した映像を DVD に書き込む

1 DVDに書き込みたい映像を録画します。

【録画する】(55ページ)をご覧ください。

> **DVDに書き込むことのできる録画データ**
> 「DigitalTV Recorder」で録画データを用意する場合、下表の形式で録画を行ってください。

AVI	［設定］ボタンで、「AVIファイル形式」を［VfW標準AVI］または［OpenDML(AVI 2.0)］に設定。
MPEG	［設定］ボタンで、「出力形式」を［DVD］に設定。

2 「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」を起動します。

3 DVDのプロジェクトを作成します。

①［プロジェクトの作成］をクリックします。

②［新しくプロジェクトを作成する］をクリックします。

③「出力ディスク形式」を［DVD］に設定します。

④［次へ］ボタンをクリックします。

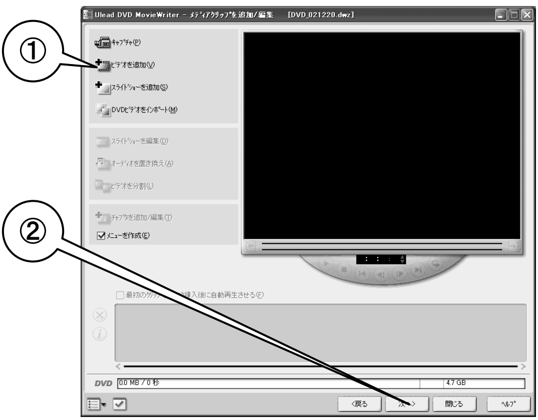


4 録画したファイルを追加します。

①［ビデオを追加］をクリックします。

⇒ファイルを開く画面が表示されます。録画したファイルを開いてください。複数追加する場合は、この作業を繰り返してください。

②［次へ］ボタンをクリックします。



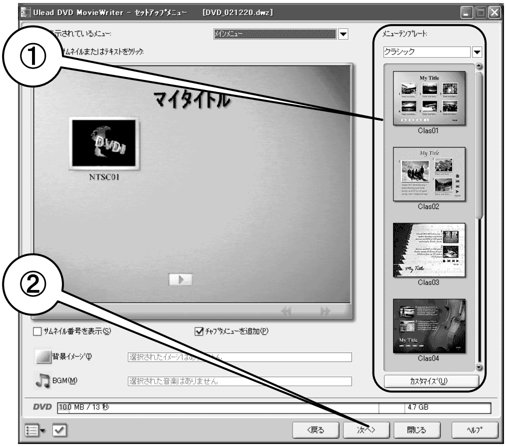
追加した映像にチャプタを追加する

［チャプタを追加/編集］をクリックすることで、選択した映像にチャプタを追加できます。詳しくは、「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」のオンラインマニュアルをご覧ください。

5 メニューを設定します。

①「メニューテンプレート」を選択します。

②［次へ］ボタンをクリックします。



6 出来上がりイメージを確認します。

確認したら、［次へ］ボタンをクリックします。



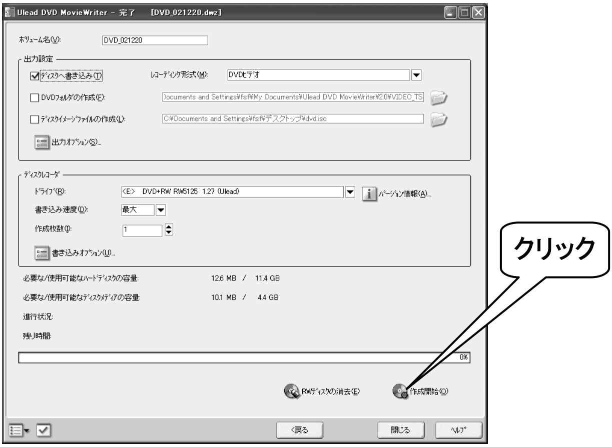
7 DVDに書き込みます。

①［ディスクへ書き込み］にチェックを付けます。

②「ディスクレコーダ」の［ドライブ］でDVDドライブを指定します。

③［作成開始］をクリックします。

⇒DVDの作成が開始されます。



DVD に直接録画する

1 「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE」を起動します。

2 DVDのプロジェクトを作成します。

①［ディスクに直接記録］をクリックします。

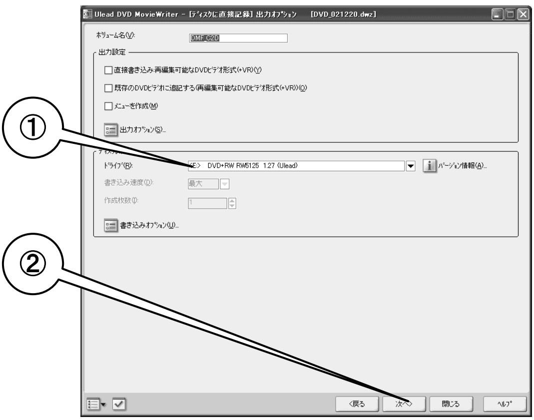
②［次へ］ボタンをクリックします。



3 書き込みをするDVDドライブを設定します。

①「ディスクレコーダ」の［ドライブ］でDVDドライブを指定します。

②［次へ］ボタンをクリックします。



4 必要な場合は、映像機器から映像を入力します。

映像機器の電源を入れてください。

ビデオデッキなどは再生してください。

5 「Channel Commander」を起動し、録画する映像を表示します。

【他のソフトウェアで録画する】(61ページ)をご覧ください。

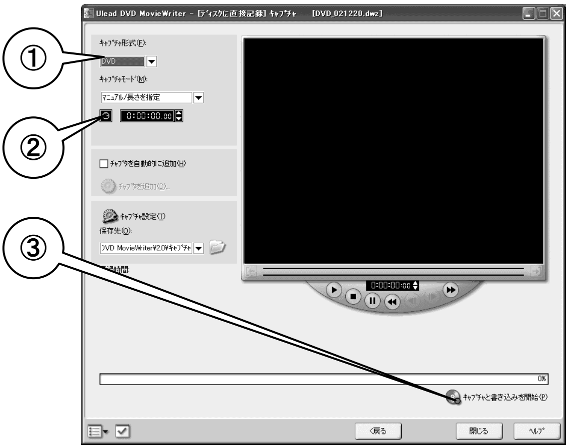
6 DVDへの録画を開始します。

①「キャプチャ形式」を[DVD]に設定します。

② で録画時間を入力します。

③[キャプチャと書き込みを開始]をクリックします。

⇒DVDへの録画が開始されます。



Memo

DV機器で使ってみよう

DVテープに録画する

DV機器に接続し、映像機器からの映像を録画する方法を説明します。

1 DV機器側の設定で、本製品の映像を入力するようにします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

2 DV機器に映像を入力します。

① モードスイッチを押し、本製品のモードを「コンバートモード」に切り替えます。

② 映像機器の電源を入れます。
　また、ビデオデッキなどは再生します。
　⇒DV機器に映像が入力されます。

参考

テレビの映像を入力する

本製品をパソコンにも接続することで、本製品のテレビチューナーからの映像をDV機器に入力することができます。

① 【パソコンで使えるようにする】(26ページ)をご覧になり、本製品をパソコンで使えるように設定します。

② 【他のソフトウェアで録画する】(61ページ)を参考に、映像をDV機器に表示できるようにします。
　⇒本製品からの映像が、DV機器で表示されます。

3 DV機器を録画状態にします。

方法については、各DV機器の取扱説明書をご覧ください。

付録

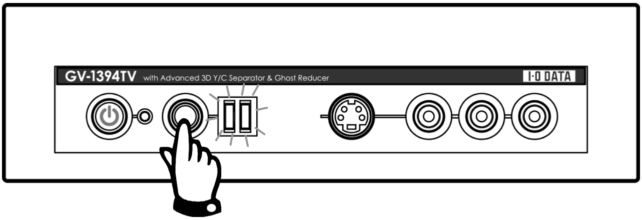
本体での設定

本体側のスイッチでできる設定について説明します。

モードを切り替える	本ページ
映像を出力しないようにする	次ページ
音声の周波数を設定する	
Locked Audioを設定する	90ページ
本製品の設定を初期化する	90ページ

モードを切り替える

本製品の「モード切替スイッチ」を押すことで、「コンバートモード」と「チューナーモード」を切り替えることができます。



●コンバートモード

映像機器からの映像を出力するモードです。
モードランプの「CONVERT」が点灯します。

●チューナーモード

本製品のチューナーからの映像を出力するモードです。
モードランプの「TUNER」が点灯します。

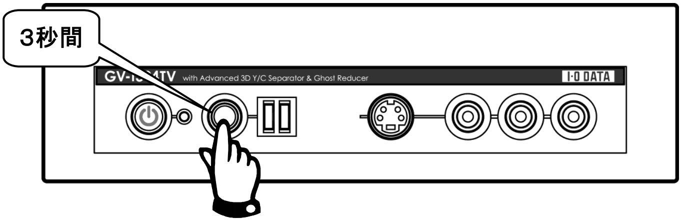
参考

パソコンに接続せずに使う場合、コンバートモードに切り換えてください

本製品に接続した映像機器からの映像をDV機器を使って録画することができます。

映像を出力しないようにする

本製品の「モード切替スイッチ」を約3秒以上押すことで、本製品から映像が出力されなくなります。モードランプが２つとも消灯します。
もう一度「モード切替スイッチ」を押すと、この設定は解除されます。



参考

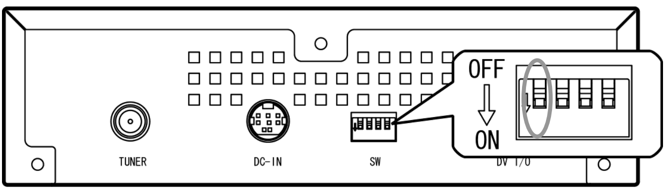
パソコンに接続している他のDV機器が使えなくなったら設定してください
本製品から映像出力しないことで、改善されることがあります。
この状態では、本製品をお使いいただくことはできません。

音声の周波数を設定する

本製品背面にある「初期設定スイッチ」の一番左のスイッチで設定します。

本製品の電源を切り、
設定してください。

ON	32KHz 12bit モード
OFF	48KHz 16bit モード（出荷時設定）



参考

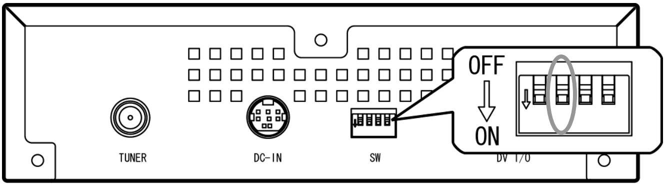
32KHz 12bit モードについて
音質は48KHz 16bitモードに比べて落ちますが、主音声・副音声を共に出力する「主・副音声(2CH)」を使用できます。
「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」で設定してください。

Locked Audio を設定する

本製品背面の「初期設定スイッチ」の左から二番目のスイッチを使って設定します。

本製品の電源を切り、
設定してください。

ON	Unlocked Audioモード
OFF	Locked Audioモード（出荷時設定）

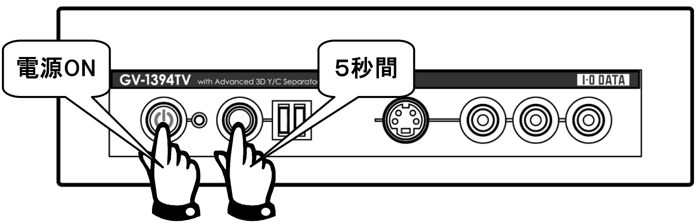


Unlocked Audioモードについて

Locked Audioモードは、映像と音声の同期を取り、ズレを軽減します。
ですが、非標準信号(ビデオのメニュー画面やゲーム機の映像など)の映像は同期が取れないため、逆にズレやノイズが発生することがあります。
そのようなときは、Unlocked Audioモードに設定してください。

本製品の設定を初期化する

本製品の電源を切り、「モード切替スイッチ」を押したままで電源を入れます。
「モード切替スイッチ」を押したまま約５秒待つと、本製品の設定は初期化されます。



サポートソフトの削除

サポートソフトの削除（アンインストール）方法について説明します。

参考

サービス品のソフトウェアの削除
各ソフトウェアのオンラインマニュアル(95ページ)などをご覧ください。

I-O DATA DigitalTV Recorder の削除

注意

Windows XP/2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 「コントロールパネル」を開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 [アプリケーション(プログラム)の追加と削除]を起動します。

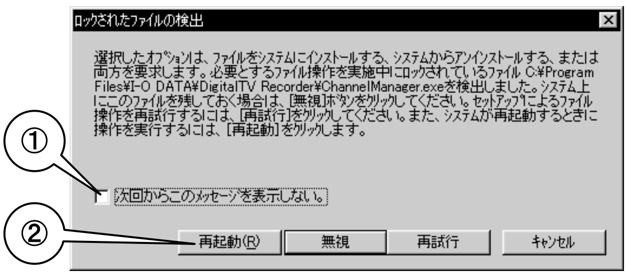
3 「I-O DATA DigitalTV Recorder」を削除します。

［I-O DATA DigitalTV Recorder］を選び、［変更と削除(変更/削除、追加と削除)］ボタンをクリックします。

⇒削除の作業が開始されます。後は、画面の指示に従ってください。

注意

「ロックされたファイルの検出」画面が表示された場合
① ［次回からこのメッセージを表示しない。］にチェックを付けます。
② ［再起動］ボタンをクリックします。



I-O DATA MediaSink の削除

Windows XP/2000の場合
コンピュータの管理者(Administrator)グループに属するユーザーでログオンしてください。

1 「コントロールパネル」を開きます。

［スタート］（→［設定］）→［コントロールパネル］の順にクリックします。

2 [アプリケーション(プログラム)の追加と削除]を起動します。

3 「MediaSink」を削除します。

［MediaSink］を選び、［変更と削除(変更/削除、追加と削除)］ボタンをクリックします。

⇒削除の作業が開始されます。後は、画面の指示に従ってください。

「ロックされたファイルの検出」画面が表示された場合
①［次回からこのメッセージを表示しない。］にチェックを付けます。
②［再起動］ボタンをクリックします。



サービス品のソフトウェア

添付されているサービス品のソフトウェアについて説明します。

入っているソフトウェア

●Ulead VideoStudio 6 SE

本製品で録画した映像を編集したり、本製品の映像を直接録画することができる、デジタルビデオ編集ソフトです。

ビデオフィルタ、トラジション（場面転換）効果、オーバーレイクリップ、アニメーションタイトル機能などの多彩な機能を搭載しています。

●Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE with AC-3

本製品で録画した映像を使ってDVDを作ったり、本製品の映像を直接DVDに録画できる、オーサリングソフトです。

AC-3形式でオーディオ圧縮したDVDディスクを作ることもできます。

●Ulead PhotoImpact 7 SE

本製品で保存した静止画を編集することができる、静止画編集ソフトです。

簡単さ、使いやすさは、以前のバージョンそのままに、多彩な新機能を搭載し、従来からの機能がさらに強化されています。
HTML出力も充実し、イメージ編集からWebページ制作まで総合力を発揮します。

●Ulead Cool 3D 3 SE

複雑な作業を行うことなく、ダイナミックな3Dタイトルやアニメーションを作ることができる、タイトル作成ソフトです。

●reserMail

外出先のパソコンや携帯電話（iモード、J-SKY、EZweb）から、自宅のパソコンに録画予約できます。

インストール方法

●Uleadのソフトウェア

UleadのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

●reserMail

① GV-1394TVサポートソフトのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。
② ［CDを参照］をクリックします。
⇒CD-ROMの内容が表示されます。
③ ［reserMail］→［Setup］の順にダブルクリックします。
⇒インストール画面が表示されます。
あとは、インストールするソフトウェアを選んで画面の指示に従ってください。

参考

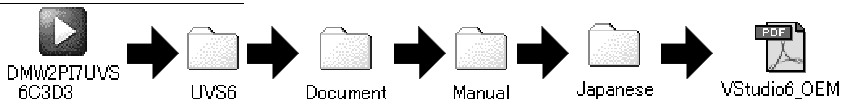
詳しい方法について
reserMailの［Setup］と同じフォルダに、「reserMail」というpdfファイルがあります。そちらをご覧ください。

使用方法

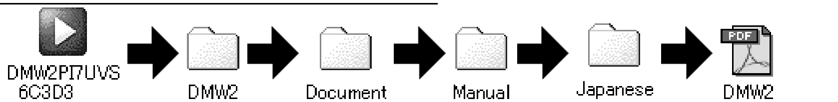
各ソフトウェアの使用方法については、ヘルプもしくはオンラインマニュアルをご覧ください。

●オンラインマニュアルの参照方法

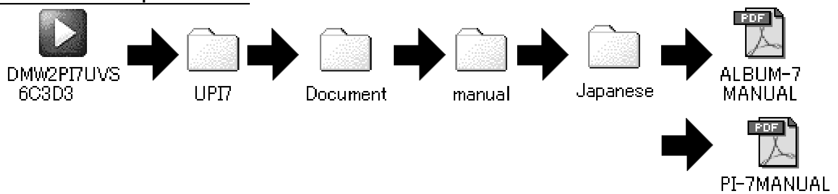
Ulead VideoStudio 6 SE



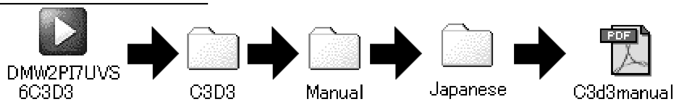
Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE with AC-3



Ulead PhotoImpact 7 SE



Ulead Cool 3D 3 SE



reserMail

前ページの参考をご覧ください。

参考

オンラインマニュアルを見るにはAcrobat Readerが必要です

インストールされていない場合は、インストールしてください。

Acrobat Readerのインストール方法

①UleadのCD-ROMを挿入し、インストールメニューを表示します。

②［Acrobat Reader］をクリックしてください。
あとは、画面の指示に従ってください。

IEEE 1394について

IEEE 1394とは？

●IEEE 1394（アイトリプルイー イチサンキューヨン）

パソコン周辺機器の高速データ転送用の技術としてApple Computer, Inc.で開発が始まり、IEEE(米国電気電子技術者協会)により正式規格として制定された規格。
その規格番号から一般的にIEEE 1394と呼ばれる。FireWireやi.LINKなどもその一種。
ソニー株式会社がデジタルビデオカメラのインターフェイスとして採用したことで家電業界を中心に普及が進んでいる。

●i.LINK(アイリンク)

IEEE 1394を本格的に普及させるために、ソニー株式会社が提唱する呼称。

●FireWire(ファイヤーワイヤー)

IEEE 1394のベースになった規格。
Apple Computer, Inc.とTexas Instruments社で提唱された。

IEEE 1394 機器の接続方法

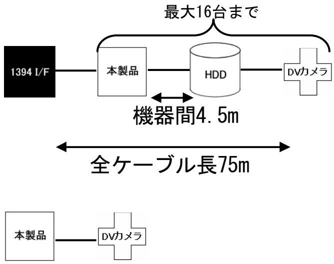
参考

記号の説明

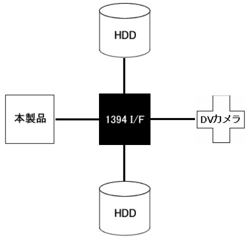
記号	説明
1394 I/F	IEEE 1394ポート搭載パソコン
本製品	本製品
HDD	ハードディスク
DVカメラ	DVC（デジタルビデオカメラ）

●正しい接続方法

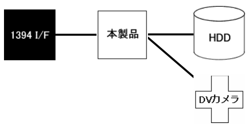
デイジーチェーン
機器同士を、じゅず状につなげる方法。



スター
IEEE 1394インターフェイスを中心に
スター(星)状につなげる方法。

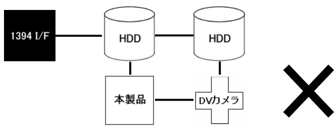


ツリー
各機器から枝別れさせてつなげる方法。

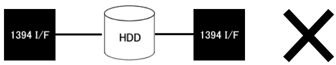


●誤った接続方法

ループ
IEEE 1394インターフェイスおよび機器
間をループ状につなげる方法。



共有
複数のパソコンで機器を共有するように
つなげる方法。



IEEE 1394 機器の接続可能台数

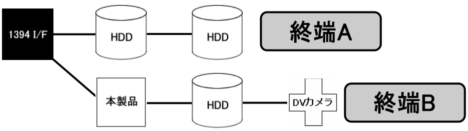
IEEE 1394ポートには最大63台のIEEE 1394機器を接続できます。

ただし、Windows側の制限などによって全ての機器を使えません。

IEEE 1394 ケーブルの最大本数

IEEE 1394インターフェイスと終端のIEEE 1394機器の間に最大16本のケーブルを使うことができます。

下の図では、終端Aまでは2本、終端Bまでは3本のケーブルを使っています。



複数の IEEE 1394 機器の取り外し

複数のIEEE 1394機器を連続して接続している場合は、終端より順に取り外してください。

用語解説

2D NR[ツーディー エヌアール]
(two Dimension Noise Reduction)
ノイズ除去・低減処理の一種。
映像信号の微小な変動をノイズとみなして処理を行う。
残像など、時間軸方向のノイズは現れないが、映像の細かい部分が潰れてしまうことが多い。

2D Y/C 分離[ツーディー ワイシー ぶんり]
(two Dimension Y/C)
Y/C 分離方式の一種。
映像の隣り合う水平ライン間の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。

3D NR[スリーディー エヌアール](three Dimension Noise Reduction)
ノイズ除去・低減処理の一種。
ノイズは時間軸方向に対する相関が低いため、それを利用してノイズを低減させる。
映像のシャープさを損なわずにノイズを低減することができる反面、時間軸方向で変化の大きな映像では残像などのノイズが発生しやすい。

3D Y/C 分離[スリーディー ワイシー ぶんり]
(three Dimension Y/C)
Y/C 分離方式の一種。
映像の時間軸方向の相関を利用して、輝度信号(Y)と色信号(C)の分離を行う。
静止画において高品質なY/C 分離が行える反面、映像が動いている領域に対して適用すると、残像や網状のノイズがあらわれる。

AC-3[エーシースリー](Audio Code Number-3)
「Dolby Digital」を参照。

ACL[エーシーエル]
(Automatic Contrast Limitter)
映像の平均的な明るさを調べてコントラストを自動調節することで、階調の再現性を上げる機能。

AGC[エージーシー](Auto Gain Control)
信号の振幅レベルに合わせて信号の増幅率を調整する機能。

APL[エーピーエル](Average Picture Level)
平均映像レベル。

CGMS-A[シージーエムエス エー]
(Copy Generation Management System - Analog)
コピーガード信号の一種。

DirectX[ダイレクトエックス]
グラフィックスやサウンド、アニメーション、ムービーなどを扱うためのMicrosoft社のマルチメディア技術の総称。

DMA転送[ディーエムエー]
データ転送方式の一種。CPUを介さずに、デバイス⇔メモリ間で直接データを転送する。専用のコントローラが転送制御を行うため、CPUの負荷が軽減される。

Dolby Digital [ドルビーデジタル]
Dolby Laboratoriesが開発した音声の符号化方式。AC-3とも呼ばれる。
DVDやLDの音声圧縮形式として採用されている。

DVフォーマット[ディーブイふぉーまっと]
(Digital Video)
民生用デジタルVCRで採用されている圧縮形式。圧縮はフレームごとに行う。
映像部分のビットレートは約25Mbps。

FourCC[フォーシーシー]
(two Dimension Noise Reduction)

AVIファイルに使用されているCodecを識別するコード。
Windows標準のDV Codecの場合、'dvsd'が使用される。

f特[エフとく]

周波数特性のこと。
A/D（アナログ/デジタル変換）、D/A（デジタル/アナログ変換）を繰り返すことによって劣化していく。

GCR信号[ジーシーアールしんごう]
(Ghost Cancel Reference)

ゴースト低減処理用の基準信号。

ITU-R[アイティーユー アール]
(International Telecommunication Union Radiocommunication Sector)

国際電気通信連合の無線通信部門。
ITU-R BT.601は、ビデオ信号のデジタル化に関するITU標準勧告。
「BT.601」は、Broadcasting service (television)の601番目の勧告を示す。

Locked Audio[ロックド オーディオ]

映像信号を基準に音声を同期させる、映像と音声の同期方式。
映像の同期信号から生成したクロックで音声をサンプリングするので、長時間のキャプチャでも映像と音声のずれが生じにくい。
ただし、ビデオデッキのメニュー画面、ゲーム機の映像などの非標準信号を入力した時は、映像の同期信号に音声をうまくロックさせることができず、ノイズが発生することがある。

MPEG[エムペグ]
(Moving Picture (coding) Experts Group)

ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループである団体名、またはそれに策定されたデジタル動画を圧縮する技術。

MPEG-2[エムペグツー]

MPEG-1の拡張規格。
ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準会議）のワークグループ「MPEG」によって策定され、1995年に国際標準規格（ISO/IEC13818）となった。
MPEG-2は、現行のテレビ品質からスタジオ品質のHDTV（High Definition Television）までの動画再生をサポートしている。
現在は、DVDや衛星、地上波のデジタルTV放送などに使われている。

R-Y軸補正[アールワイじくほせい]

色合いを補正する機能。

TBC[ティービーシー](Time Base Corrector)

ビデオテープ再生時、ヘッドの回転ムラやテープの走行ムラに起因する映像の時間軸変動を補正する機能。

Unlocked Audio[アンロックド オーディオ]

映像と音声の同期手法で、映像と音声の同期を取らない方式。
映像と音声がそれぞれ独立したクロックでサンプリングされるので、長時間のキャプチャ時に映像と音声のずれが生じる場合がある。

インターレース

「くし」状の表示を2回行うことで、1枚の画を表示する方式。
そのため、ノンインターレースのモニタにインターレース映像を表示した場合、動き部分に「くし」状のノイズが発生する。

動き検出

3D Y/C 分離などの映像の時間軸方向に対する処理は、動画像に対して適用するとノイズが発生する。
そのため、映像の動き部分を検出し、その部分に対しては時間軸方向の処理を行わないようにする機能。

黒伸張補正

夜景などで本来暗い部分が暗くならない時など、暗い部分のコントラストを上げることによって映像にメリハリを付ける機能。

ゴースト

ある信号に対して、反射や遅延によって付加された余分な信号のこと。
映像信号では物が二重、三重像に見える。
一般に、テレビ映像のゴースト像は視聴者から見て対象物の右側に現れる。
視聴者から見て対象物の左側に現れるゴーストは、前ゴーストという。

コピーガード信号

コンテンツのコピー制限を行うため、著作権者によって映像コンテンツに付加されている信号。

サブコントラスト

輝度信号の増幅率。

サブカラー

色信号の増幅率。
Cbサブカラー(青)、Crサブカラー(赤)の二種類がある。

白ピーク補正

映像の極端に明るい部分のコントラストを調節することで、白飛びを抑える機能。

デインターレース

インターレース映像を、何らかの手段でノンインターレース映像に変換する処理。
プログレッシブ化とも呼ばれる。
インターレース映像をPCのモニタ上に表示させると、動きの激しい部分に「くし」状のノイズが現れるが、デインターレース処理を行うと軽減される。

ノンインターレース

上から順に画像を表示し、1枚の画を完成させる方式。

ビートノイズ

近接した二つの周波数の信号が干渉することで発生するノイズ。
チューナーからの映像に、薄い「しま」状のノイズとして現れることが多い。

標準信号

水平同期信号と色信号のインターリーブ関係が成立した信号。
通常のテレビ放送やビデオ入力の映像は標準信号である。

なお、ゲーム機の映像やビデオデッキのメニュー画面などは、非標準信号が多い。
非標準信号は、3D Y/C分離などの信号処理が行えず、Locked Audioモードも使用できない。

プログレッシブ変換

PCのモニタ上でインターレース映像を表示した際に発生する、「くし」状のノイズを除去する処理。

マクロビジョン（Macrovision）

一般に広く使用されているコピーガード信号の一種。

リンギング

映像信号の変化の大きな部分で、信号が波打ったように変化した状態。デジタルフィルタの特性によって発生することがある。

輪郭強調

映像内の物体の輪郭を検出し、強調する処理。
シャープネスの操作では映像のノイズも強調されてしまうが、輪郭強調機能を使用すればノイズを増やさずに映像の
シャープさを増すことができる。

擬似10bit出力

8bitデジタル出力時、下位ビットに誤差拡散を行うことによって疑似的に10bit出力を行う機能。

困った時には

●使えるようにする時の問題 ……………………………………………… 105

現象	ページ
本製品のドライバに［！］マークが付いている	１０５

●弊社製ソフトウェアで使用時の問題 …………………………………… 106

現象	ページ
プレビューウィンドウに映像が表示されない	１０６
プレビューウィンドウの表示が、コマ送りになる	１０７
録画した物を再生すると、音声と映像がずれている	
表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない	１０８
iEPGサイトで録画予約できない	
映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない	１０９
キャプチャした映像の色が薄く感じられる	１１０
プレビューウィンドウに、「くし」形のノイズが表示される	
ゴーストが表示される	１１１
入力した映像がとぎれてしまう	
3D Y/C分離が働いていない	１１２
3D NRが働いていない	１１３
チューナーからの映像のリンギングがひどい	１１４
チューナーからの映像にビートノイズが表示される	
プレビューウィンドウの映像と音声がずれる	１１５
プレビューウィンドウの映像がちらつく	
Channel Commanderが突然終了した	１１６
MPEG録画できない	
MPEGファイルを再生できない	
WMVファイルを再生できない	

使えるようにする時の問題

本製品のドライバに[！]マークが付いている

原因1 Windows XP/Meを使っている

Windows XP/Meで表示される［AV/C Tuner］は、2003年1月現在Microsoft社よりドライバが供給されていません。
そのため、［！］マークが付いていますが、問題なくお使いいただけます。

原因2 本製品が正しく認識されていない

［！］マークが付いているドライバを［削除］ボタンで削除します。
その後、本製品をパソコンから抜き差ししてください。

弊社製ソフトウェアで使用時の問題

プレビューウィンドウに映像が表示されない

原因1 入力切換が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
［入力切換］ボタンを押し、映像が映るまで映像入力を切り換えてください。

原因2 映像信号が入力されていない

本製品とアンテナが正しく接続されていることを確認してください。
また、本製品と映像機器が正しく接続されていることも確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3 パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。

プレビューウィンドウの表示が、コマ送りになる

原因1　パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2　フレームレートが低くなっている

プレビューウィンドウを右クリックし、表示されたプロパティをクリックします。
それぞれのタブの「フレームレート」の値を大きくしてください。

原因3　MPEGかWMVで録画している

MPEGやWMVでの録画は、パソコンに多くの負荷をかけます。
そのため、プレビューがコマ送り・コマ落ちになる場合があります。

録画した物を再生すると、音声と映像がずれている

原因1　パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2　古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

原因3　ハードディスクの「DMA」設定を行っていない

（Windows Me/98のみ）

【DMAの設定確認】（120ページ）をご覧になり、「DMA」設定を確認してください。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV－1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本体での設定】（88ページ）をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

iEPGサイトで録画予約できない

原因 iEPGサイトとプリセットチャンネルの地域設定が異なる

iEPGサイトが正しい地域のものであるかをご確認ください。

iEPGサイトが正しい地域の場合は、下の設定をお試しください。
① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［プリセット（設定）］ボタンをクリックします。
⇒「プリセットチャンネル設定」画面が表示されます。
② 「地域選択」内を正しく設定します。
③ ［OK］ボタンをクリックします。

映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない

原因1

・映像機器との接続が正しくない
・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。

映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

原因2

Windowsやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント（マルチメディア）］→［ボリュームコントロール］の順にクリックしてください。

［ボリュームコントロール］［WAVE］のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。また、音声を大きくしてみてください。

原因3

パソコンにサウンドデバイスがない

パソコンにサウンドデバイスを増設してください。

原因4

MPEG録画を行っている

MPEG録画中は、音声再生が行われません。

録画されるMPEGファイルは、正常に音声を再生できます。

キャプチャした映像の色が薄く感じられる

原因　本来の映像信号のまま出力されている

テレビなどでは、映像信号を調整してから表示されています。本製品は、初期設定では映像信号をそのまま表示しているため、テレビに比べて薄い色に感じられる場合があります。

「画質調整」でお好みの画質に調整してください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV－1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。

② ［画質調整］タブをクリックします。

③ 画質の調整を行います。

④ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウに、「くし」形のノイズが表示される

原因　デインターレースの設定が低い

プレビューの「デインターレース」設定を高めに設定することで解消する可能性があります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。

② 表示された［プロパティ］をクリックします。
⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。

③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［高品質］に設定します。

④ ［OK］ボタンをクリックします。

ゴーストが表示される

原因1 受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因2 ゴースト低減機能が使われていない

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV−1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［ゴースト低減］タブをクリックします。
③ 「動作モード」を［ゴースト低減ON］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

入力した映像がとぎれてしまう

原因1 コピーガード情報が検出された

本製品は、Sビデオやビデオ入力からコピーガード信号を検出すると、映像の出力を停止します。その間、モードランプが点滅します。
約10秒以上コピーガード信号が検出されなかった時点で、映像の出力を再開します。

原因2 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。
また、【本体での設定】(88ページ)をご覧になり、「Unlocked Audioモード」に設定すれば、改善される場合があります。

3D Y/C分離が働いていない

原因1 3D処理機能がOFFになっている

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV−1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［Y/C分離・ノイズ除去］タブをクリックします。
③ 「Y/C分離・ノイズ除去モード」を［3D Y/C分離 3D NR ON］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 受信状態が極端に悪い

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

原因3 古いビデオテープから入力された映像である

古いビデオテープの映像が乱れている場合は、標準信号から外れた状態になることがあります。
ビデオテープを、TBC機能があるビデオデッキなどで再生してください。

原因4 Sビデオで入力している

Sビデオの信号はすでに分離された状態です。
そのため、3D Y/C分離を行えません。

映像機器によっては、コンポジットで入力し、本製品で3D Y/C分離を行った方が、きれいに表示されることがあります。

原因5 ビデオのメニュー画面やゲーム機などの映像である

これらの映像は、標準信号から外れていることがあります。
その場合は、3D Y/C分離を行えません。

原因6 動きの激しい映像である

3D Y/C分離は、動きのある部分には適用されません。
下の作業を行い、動きを検出される部分を減らすことで、改善される場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV−1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［Y/C分離・ノイズ除去］タブをクリックします。
③ ［上級設定を許可する］にチェックをつけます。
④ 「動き検出」の［感度］を小さく設定するか、［強制静止指定］に設定します。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

3D NRが働いていない

原因 映像のノイズレベルが十分に低い

映像のノイズレベルが低い場合、3D NRの効果をほとんど実感できないことがあります。

チューナーからの映像のリンギングがひどい

原因 **受信状態が良いのに、ゴースト低減機能を使っている**

受信状態が良い場合は、ゴースト低減処理が逆効果となる場合があります。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV－1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［ゴースト低減］タブをクリックします。
③ 「動作モード」を［ゴースト低減OFF］や［スルー出力］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

チューナーからの映像にビートノイズが表示される

原因 **受信状態が悪い**

アンテナとの接続や、アンテナの設置状態をご確認ください。

また、チューナーの微調整もお試しください。

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV－1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［チューナー］タブをクリックします。
③ 「周波数微調整」を調整します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウの映像と音声がずれる

原因　設定に比べ、パソコンのスペックが不足している

PC のスペックが不足しているため、プレビュー表示の映像と音声の同期処理が正常に行われていない可能性があります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
　⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。
③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［なし］に設定します。
④ 「フレームレート」の値を小さく設定します。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

プレビューウィンドウの映像がちらつく

原因　デインターレースの設定が「高品質」になっている

デインターレースの設定が「高品質」の場合、テロップなどの文字周りでちらつきが目立つことがあります。

① プレビューウィンドウを右クリックします。
② 表示された［プロパティ］をクリックします。
　⇒「プレビューウィンドウのプロパティ」画面が表示されます。
③ 「デインターレース設定」を、［通常］や［なし］に設定します。
④ ［OK］ボタンをクリックします。

Channel Commanderが突然終了した

原因 **DigitalTV Recorderを起動した**

DigitalTV Recorderは、Channel Commanderの機能を全て使用可能です。
そのため、DigitalTV Recorderが起動すると、Channel Commanderは自動的に終了します。

MPEG録画できない

原因 **弊社の別製品に添付されている「DVworks」をアンインストールした**

【I-O DATA DigitalTV Recorderの削除】(91ページ)をご覧になり、DigitalTV Recorderをアンインストールしてください。
その後、【インストールする】(38ページ)をご覧になり、もう一度DigitalTV Recorderをインストールしてください。

MPEGファイルを再生できない

原因 **CODECがインストールされていない**

「Ulead VideoStudio」や「Ulead DVD MovieWriter」をインストールしてください。同時にCODECがインストールされます。

WMVファイルを再生できない

原因 **メディアプレーヤーが最新ではない**

「Windows Update」などからメディアプレーヤーを最新のものにアップデートしてください。

他社ソフトウェアで使用時の問題

本製品の映像が表示されない

原因1　入力切換が正しくない

映像機器が接続されていない外部入力の設定になっているなどの可能性があります。
「Channel Commander」の［入力切換］ボタンを押し、映像が表示されるまで映像入力を切り換えてください。
また、他社ソフトウェア側で正しく本製品から映像を入力する設定にしてください。

原因2　映像信号が入力されていない

【パソコンに接続する】（26ページ）をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
映像機器から映像を入力している場合は、映像機器が再生状態になっていることも確認してください。

原因3　パソコンの表示解像度やリフレッシュレートの値が大きい

パソコンやグラフィックボードの取扱説明書をご覧になり、パソコンの表示解像度やリフレッシュレートを低く設定してみてください。

原因4　本製品が認識されていない

【パソコンに接続する】（26ページ）をご覧になり、本製品の接続を確認してください。
また、【確認する】（35ページ）をご覧になり、本製品が使える状態になっていることを確認してください。

プレビュー表示が、コマ送りのようになる

原因1　パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2　プレビューのフレームレートが低くなっている

お使いのソフトウェアのプレビュー用フレームレートを、高めに設定してください。

※ ソフトウェアによっては、フレームレートを変更できない場合があります。

映像の音声や録画した映像の音声が聞こえない

原因1　・映像機器との接続が正しくない
・接続した映像機器から音声が出力されていない

本製品と映像機器が正しく接続されていることを確認してください。

映像機器から映像を入力している場合は、映像機器から音声が入力されていることも確認してください。

原因2　Windowsやソフトウェアの音声がミュートになっていたり、小さくなっている

［スタート］→［（すべての）プログラム］→［アクセサリ］→［エンターテイメント（マルチメディア）］→［ボリュームコントロール］の順にクリックしてください。

[Wave/DirectSound/MP3]のミュートにチェックが付いていないか確認してください。チェックが付いていたら外してください。

また、音声を大きくしてみてください。

原因3　ソフトウェアが、プレビュー中に音声を再生しない

プレビュー中に音声を再生しないソフトウェアがあります。

原因4 パソコンにサウンドデバイスがない

パソコンにサウンドデバイスを増設してください。

録画した物を再生すると、音声と映像がずれる

原因1 パソコンに負荷がかかっている

他に行っている作業や常駐ソフトウェアを終了してください。
終了後しばらくしてから、もう一度お試しください。

原因2 ハードディスクの「DMA」設定を行っていない

（Windows Me/98のみ）

【DMAの設定確認】(120ページ)をご覧になり、「DMA」設定を確認してください。

表示されている映像や録画された映像が正しい状態でない

原因1 ソフトウェアの設定値が異常である

① 「DigitalTV Recorder」や「Channel Commander」の［設定］ボタンをクリックします。
⇒「GV－1394TVハードウェア設定」画面が表示されます。
② ［全チャンネルで同じ設定を使用する］にチェックします。
③ ［デフォルト］ボタンをクリックします。
④ ［はい］ボタンをクリックします。
⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

原因2 本製品の設定値が異常である

【本体での設定】(88ページ)をご覧になり、本製品の設定値を初期化してください。

DMA の設定確認

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 「デバイスマネージャ」を開きます。

［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 「種類別」の表示にします。

［種類別に表示］をクリックします。



4 DMAを確認します。

① ［ディスクドライブ］の左にある⊞をクリックします。
　⇒その下が表示されます。

② ハードディスクをダブルクリックします。

③ ［設定］タブをクリックします。

④ ［DMA］にチェックが付いていることを確認します。
　※ チェックが付いていなかった場合は、付けてください。
　ただし、ハードディスクがDMA転送に対応していない場合は、チェックを付けないでください。

⑤ ［OK］ボタンをクリックします。

5 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある × をクリックします。

確認作業は完了しました。

仕様

TV チューナー	受信TV ch	VHF:1～12ch　UHF:13～62ch　CATV:C13～C63ch
	TV音声	ステレオ　音声多重
	TV-RF入力	F型コネクタ×1
ビデオ	NTSC入力	NTSCコンポジット/Sビデオ
	映像調整	明るさ、コントラスト、色合い、鮮やかさの調整が可能 チャンネル周波数の微調整が可能
オーディオ	外部ライン入力	RCAピン(L/R)×1
DV圧縮	キャプチャサイズ	Full D1(720x480)
	ビデオビットレート	25Mbps 固定
	オーディオビットレート	1.5Mbps(48KHz), 1Mbps(32KHz) 固定
	サンプリング周波数	48KHz, 32KHz
	DV(IEEE 1394)出力	4pin×1 / 6pin×1
電源		AC 100V
消費電流(MAX)		動作時　DC 5V：1.1A DC 12V：350mA
使用温度範囲		+5～+35℃
使用湿度範囲		20～80%（結露なきこと）
サイズ		約180(W) × 180(D) × 50(H)mm （スタンド・突起部含まず）
質量		約650g(ACアダプタ含まず)

お問い合わせ

本製品について

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

本書や活用編の【困った時には】で解決できない場合は、サポートWebページ内の「製品Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ ← 製品Q&A, Newsなど

また、添付のサポートソフトをバージョンアップすることで解決できる場合があります。下記の弊社サポート・ライブラリから最新のサポートソフトをダウンロードしてお試しください。

http://www.iodata.jp/lib/ ← 弊社サポートライブラリ

2 それでも解決できない場合は･･･

住所： 〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　サポートセンター

電話： 本社…**076-260-3646**　東京…**03-3254-1036**
※受付時間　9:30～19:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

FAX： 本社…**076-260-3360**　東京…**03-3254-9055**

インターネット：　http://www.iodata.jp/support/

参考

お知らせいただく事項について

1. ご使用の弊社製品名。
2. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. トラブルが起こった状態、トラブルの内容、現在の状態
（画面の状態やエラーメッセージなどの内容）

Ulead のソフトウェアについて

添付の「Ulead VideoStudio 6 SE」「Ulead DVD MovieWriter 2.0 SE with AC-3」「Ulead PhotoImpact 7 SE」「Ulead Cool 3D 3 SE」に関するお問い合わせは、ユーリードシステムズ株式会社で受け付けています。

ユーリードシステムズ株式会社　ユーザーサポート係

住所：　〒158-0097　東京都世田谷区用賀4-5-16 TEビル
電話：　東京…03-5491-5662
※受付時間　10:00～12:00 13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）
インターネット：　http://www.ulead.co.jp/
E-Mail：　上記Webサイトのサポートページよりお問い合わせください。

reserMail について

添付の「reserMail」に関するお問い合わせは、ADCテクノロジー株式会社で受け付けています。

ADCテクノロジー株式会社　ユーザーサポート係

E-Mail：　support@epoint.co.jp
※ お問い合わせの際は、本製品名もお知らせください。
※ お問い合わせは、E-Mailでのみ受け付けております。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、

①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。

②弊社サポートセンターへお問い合わせください。

（【お問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無料修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有料となります。

※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。

・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。

※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）
修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、シリアル番号（製品に貼付されたシールに記載されています）、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）

※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。

・下の内容を書いたもの

返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］，日中にご連絡できるお電話番号，
ご使用環境（機器構成、OSなど），故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。

・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。

※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。

※ 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。

・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第２ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。

※ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
3) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
4) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
5) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
6) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
7) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
8) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
9) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
10) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
13) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

● I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
● Microsoft, Windows, MS, MS-DOS, Internet Explorerは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
● DirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
● Pentiumは、米国インテル社の登録商標です。
● Ulead Systems, Ulead Media Studio, PhotoImpactは、Ulead Systems社の商標です。
● “iEPG”および“iEPG”ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
● その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

GV-1394TV 取扱説明書
2003.01.22 127929-01
発 行　株式会社アイ･オー･データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地